

第5章

3年間の 調査結果の概要

この章では、全国体力・運動能力、運動習慣等調査（全国体力調査）の3年間（平成20～22年度）の調査結果の中から、体力向上への取組のカギとなるデータを中心に収録しています。さらに踏み込んだ詳細なデータが必要な場合、文部科学省のホームページに調査結果がPDFファイルで掲載されていますので、活用して下さい。

また、平成23年度の教育委員会アンケートの調査結果の概要も収録しています。

各年度の調査票を巻末の〈参考資料〉に載せてありますので、あわせて参照して下さい。

I 小学校の調査結果／II 中学校の調査結果

● 調査結果に関する注意事項と説明	162
	小学校 中学校
① 実技に関する調査の結果	164 / 182
② 体格と肥満度に関する調査の結果	167 / 185
③ 児童生徒の運動習慣と体力～1週間の総運動時間から	168 / 186
④ 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の特徴	170 / 188
⑤ 児童生徒の運動・生活・食習慣と体力との関連	172 / 190
⑥ 体育・保健体育授業と児童生徒の体力、意識との 関連とその取組	176 / 194
⑦ 家庭における運動やスポーツとの関わり	178 / 196
⑧ 学校の地域・家庭との連携	179 / 197
⑨ 平成20～22年度の3年間追跡調査	180 / 198

III 教育委員会アンケートの調査結果

① 都道府県・政令指定都市教育委員会の調査結果	200
② 市区町村教育委員会の調査結果	202

● 調査結果に関する注意事項と説明

- ①本調査の集計・分析において、実技調査、児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査の回答の精査を行い、一部のデータは集計・分析の対象外としている。
- ②本調査の結果においては、平均値が必ずしも調査結果のすべてを表すものではなく、標準偏差などの情報と併せて総合的に結果を分析し、評価することが必要である。
- ③実技調査と児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査のクロス集計に関しては、必ずしも因果関係を示したものでないことに留意する必要がある。
- ④児童生徒質問紙と学校質問紙の回答結果（百分率）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、百分率の合計が100%にならないことがある。（複数回答を除く）
- ⑤「複数回答可」の設問の回答結果（百分率）は、該当設問の回答対象となる全児童生徒数及び全学校数を母数にして算出している。

用語	解説
標本数	・平均値、標準偏差、T得点を算出した人数・学校数・件数
平均値	・調査結果（テスト成績）の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値＝調査結果の総和/標本数」
標準偏差	・調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 ・平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。 「標準偏差＝分散の平方根、分散＝偏差平方和/(標本数－1)、 偏差平方和＝偏差の平方の総和、偏差＝調査結果－平均値」
T得点	・全国平均値に対する相対的位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。 平均値50点、標準偏差10点の標準得点。 $T得点 = 50 + 10 \times \frac{\text{調査結果} - \text{平均値}}{\text{標準偏差}}$
体力合計点の 全国平均 全国学校平均	・全児童生徒の体力合計点の平均値。主に、児童生徒質問紙調査と実技調査をクロス集計したときに使用する。 平成20年度 小学校：男子54.2点、女子54.9点 中学校：男子41.4点、女子48.3点 平成21年度 小学校：男子54.2点、女子54.6点 中学校：男子41.3点、女子47.9点 平成22年度 小学校：男子54.4点、女子54.9点 中学校：男子41.5点、女子48.0点 平成21年度調査時に使用 ・全国学校平均 学校ごとの体力合計点平均値（その学校に在籍する児童生徒の体力合計点の平均値）の全国平均値。主に、学校質問紙調査と実技調査をクロス集計したときに使用する。 小学校：男子54.6点、女子55.5点 中学校：男子41.1点、女子48.0点

■1週間の総運動時間の算出方法

- ① 平日の運動時間：時間帯別運動時間（朝始業前・中休み・昼休み・放課後・下校後）を合計
- ② 平日の運動日数：1. ほとんど毎日、2. 時々、3. ときたま、4. しない、の回答を次のように換算
(1=4日) (2=1.5日) (3=0.5日) (4=0.1日)
- ③ 平日の総運動時間：平日の運動時間①×平日の運動日数②
- ④ 土曜日の運動日数：ひと月あたり、1. 月に1回、2. 月に2回、3. 月に3回、4. 月に4回、の回答を次のように換算
(1=0.25日) (2=0.5日) (3=0.75日) (4=1日)
- ⑤ 土曜日の総運動時間：土曜日の運動時間×土曜日の運動日数④
- ⑥ 日曜日の運動日数：ひと月あたり、1. 月に1回、2. 月に2回、3. 月に3回、4. 月に4回、の回答を次のように換算
(1=0.25日) (2=0.5日) (3=0.75日) (4=1日)
- ⑦ 日曜日の総運動時間：日曜日の運動時間×日曜日の運動日数⑥
- ⑧ 1週間の総運動時間：平日の総運動時間③+土曜日の総運動時間⑤+日曜日の総運動時間⑦

〈肥満傾向児・痩身傾向児の出現率の算出・判定方法〉

「児童・生徒の健康診断マニュアル（改訂版）」より
平成18年3月31日発行（財）日本学校保健会

- ・標準体重 (kg) = a × 身長 (cm) - b
- ・肥満度 (%) = [自分の体重 (kg) - 標準体重 (kg)] ÷ 標準体重 (kg) × 100

標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
6 (小1)	0.461	32.382	0.458	32.079
7 (小2)	0.513	38.878	0.508	38.367
8 (小3)	0.592	48.804	0.561	45.006
9 (小4)	0.687	61.390	0.652	56.992
10 (小5)	0.752	70.461	0.730	68.091
11 (小6)	0.782	75.106	0.803	78.846
12 (中1)	0.783	75.642	0.796	76.934
13 (中2)	0.815	81.348	0.655	54.234
14 (中3)	0.832	83.695	0.594	43.264

判定基準

肥満度	判定
50%以上	高度肥満
30 ~ 49.9%	中等度肥満
20 ~ 29.9%	軽度肥満
-19.9 ~ 19.9%	正常
-29.9 ~ -20%	やせ
-30%以下	高度やせ

I 小学校の調査結果

1. 実技に関する調査の結果

(平成22年度調査)

1 | 全国の状況の推移

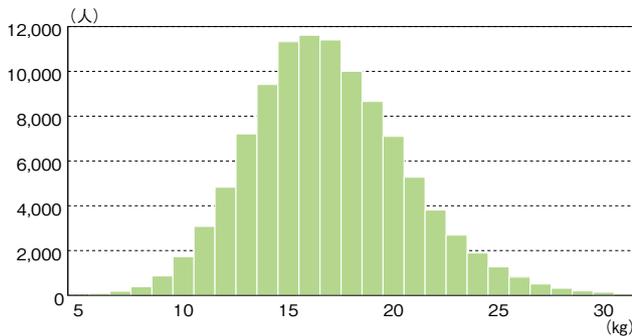
区分	年度	児童数 (人)	種目別平均								体力 合計点 (点)	総合評価 (段階別)					
			握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフトボール 投げ (m)		A	B	C	D	E	AB-DE の差 (ポイント)
男子 全体計	平成22年度	106,014	16.91	19.28	32.58	41.47	51.28	9.38	153.45	25.23	54.36	12.1%	25.9%	34.2%	20.0%	7.7%	10.3
	平成21年度	508,853	16.96	19.28	32.55	40.81	50.06	9.37	153.66	25.41	54.19	11.8%	25.5%	34.3%	20.2%	8.1%	9.0
	平成20年度	398,663	17.01	19.12	32.68	40.99	49.39	9.39	153.96	25.39	54.19	11.8%	25.4%	34.5%	20.3%	8.0%	8.9
女子 全体計	平成22年度	101,489	16.37	17.75	36.79	39.18	39.68	9.65	145.28	14.55	54.91	13.1%	25.9%	35.2%	19.8%	5.9%	13.3
	平成21年度	486,813	16.34	17.65	36.64	38.49	38.74	9.64	145.14	14.61	54.60	12.4%	25.2%	35.4%	20.6%	6.3%	10.7
	平成20年度	382,617	16.45	17.63	36.64	38.77	38.72	9.64	145.77	14.85	54.85	13.0%	25.7%	35.2%	20.1%	6.0%	12.6

2 | 調査種目及び体力合計点の全国の状況

握力

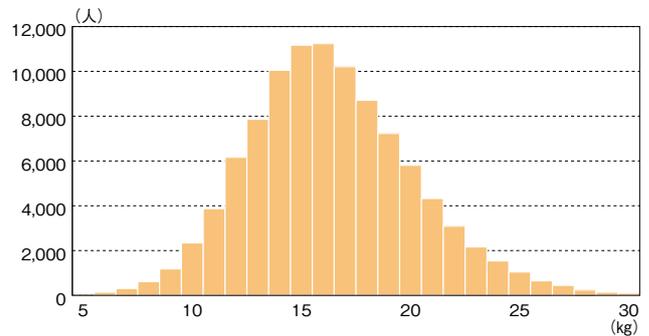
● 男子

児童数	平均値	標準偏差
104,938人	16.91kg	3.75



● 女子

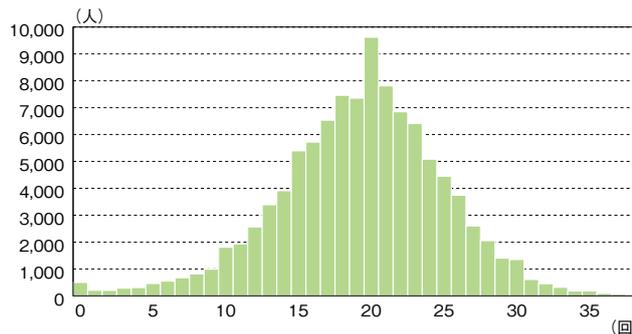
児童数	平均値	標準偏差
100,616人	16.37kg	3.77



上体起こし

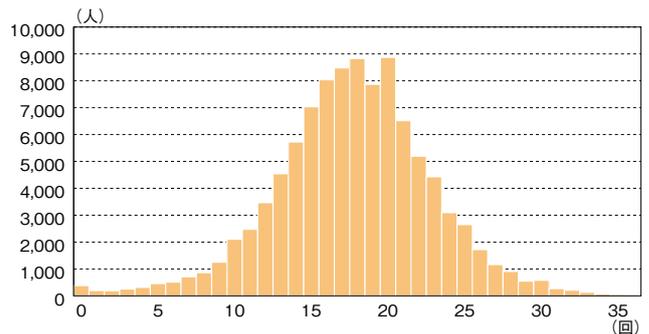
● 男子

児童数	平均値	標準偏差
104,380人	19.28回	5.70



● 女子

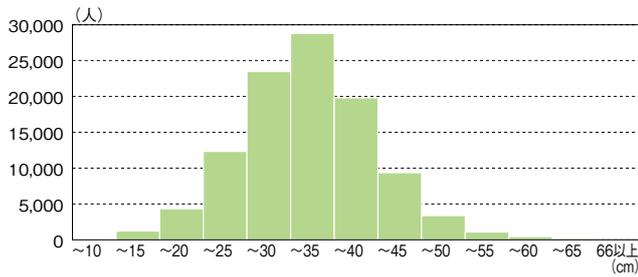
児童数	平均値	標準偏差
100,129人	17.75回	5.10



長座体前屈

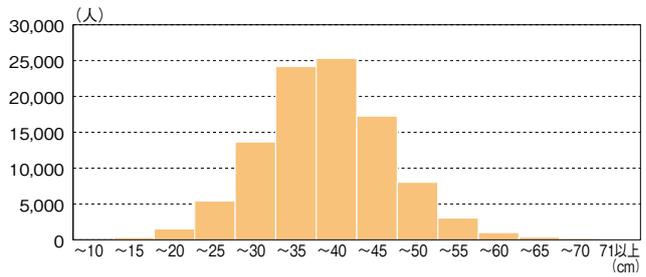
● 男子

児童数	平均値	標準偏差
104,532人	32.58cm	7.72



● 女子

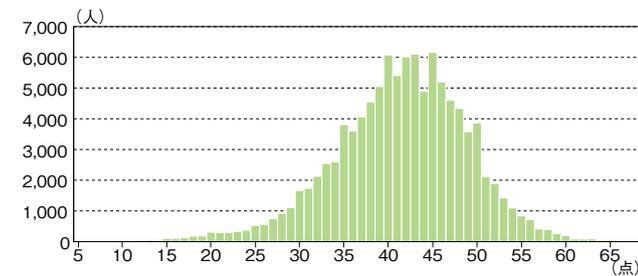
児童数	平均値	標準偏差
100,373人	36.79cm	8.03



反復横とび

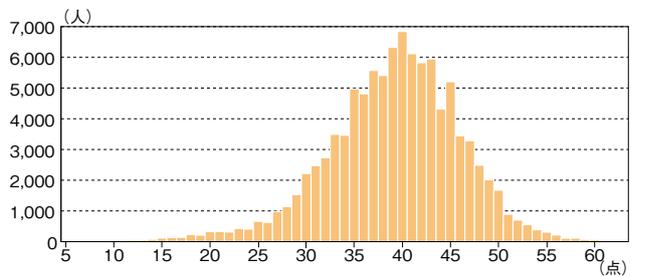
● 男子

児童数	平均値	標準偏差
104,211人	41.47点	7.59



● 女子

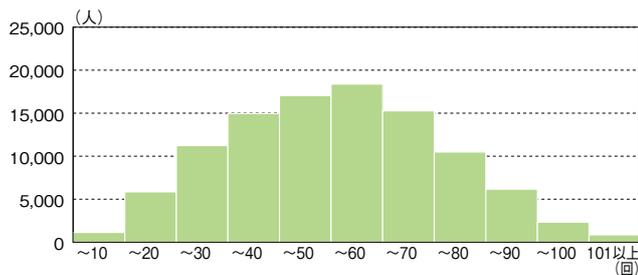
児童数	平均値	標準偏差
99,920人	39.18点	6.90



20mシャトルラン

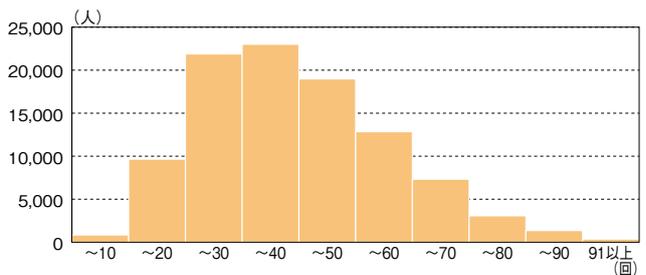
● 男子

児童数	平均値	標準偏差
103,680人	51.28回	20.72



● 女子

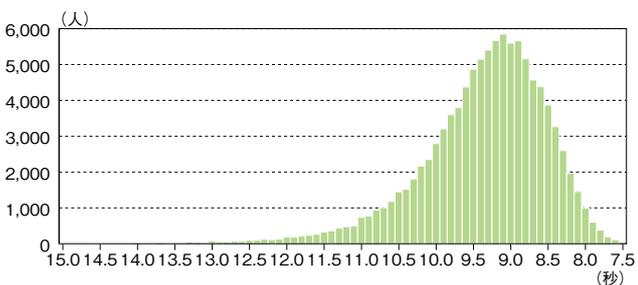
児童数	平均値	標準偏差
99,307人	39.68回	16.45



50m走

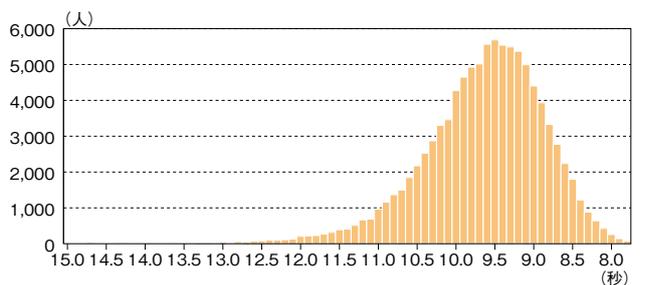
● 男子

児童数	平均値	標準偏差
104,095人	9.38秒	0.88



● 女子

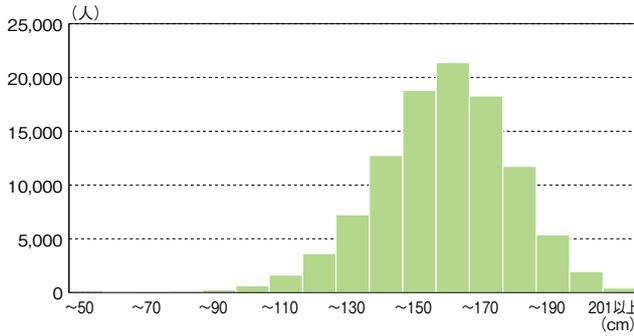
児童数	平均値	標準偏差
99,815人	9.65秒	0.80



立ち幅とび

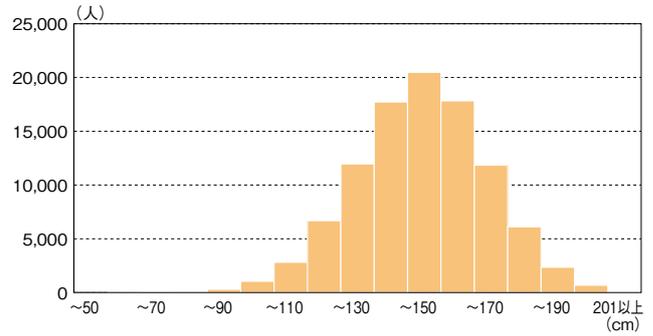
● 男子

児童数	平均値	標準偏差
104,314人	153.45cm	20.16



● 女子

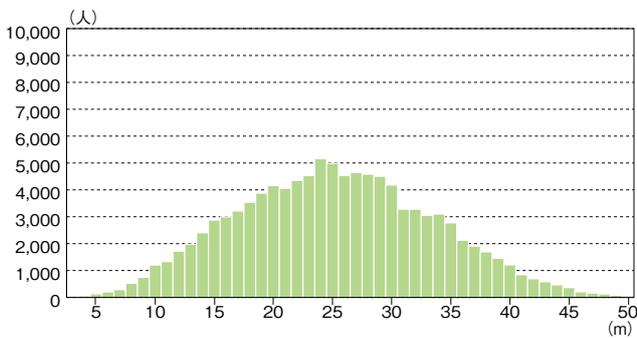
児童数	平均値	標準偏差
100,054人	145.28cm	19.60



ソフトボール投げ

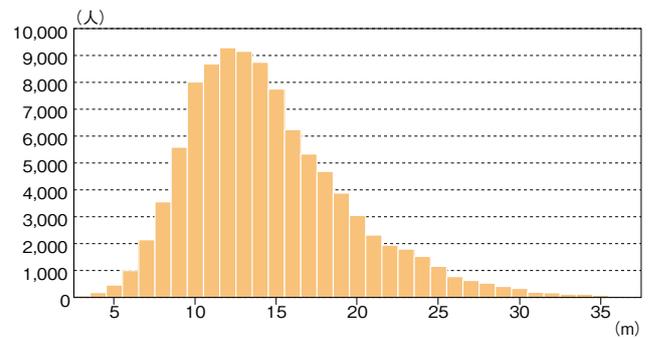
● 男子

児童数	平均値	標準偏差
104,286人	25.23m	8.27



● 女子

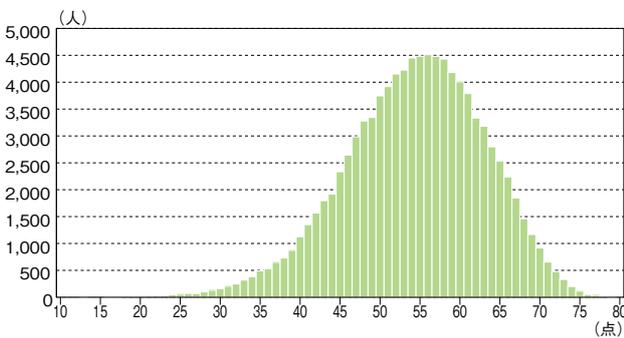
児童数	平均値	標準偏差
99,993人	14.55m	5.04



体力合計点

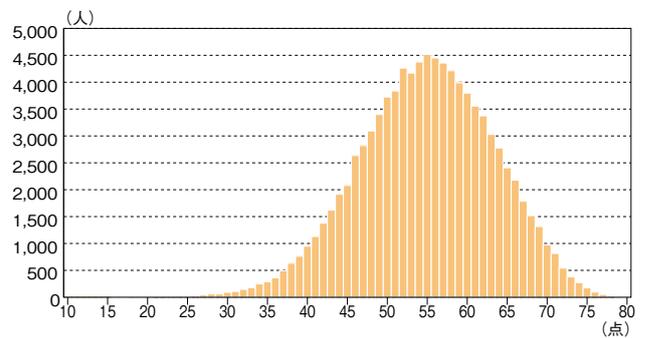
● 男子

児童数	平均値	標準偏差
99,297人	54.36点	8.76

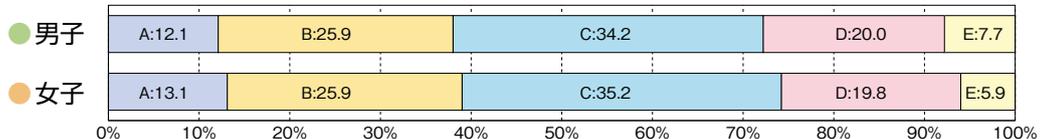


● 女子

児童数	平均値	標準偏差
95,617人	54.91点	8.44



総合評価(段階別)



※得点基準は男女により異なる。

2. 体格と肥満度に関する調査の結果

(平成22年度調査)

1 | 全国の状況の推移

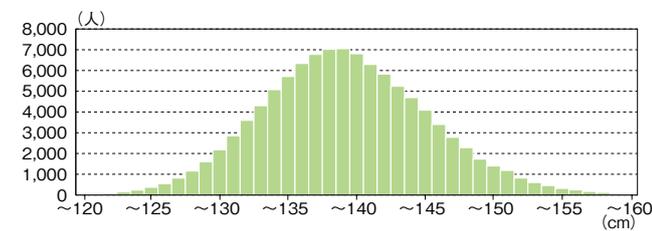
区分	年度	児童数 (人)	体格平均			肥満傾向児・痩身傾向児の出現率		
			身長 (cm)	体重 (kg)	座高 (cm)	肥満	正常	痩身
男子全体計	平成22年度	106,014	138.78	34.08	74.88	10.2%	87.5%	2.3%
	平成21年度	508,853	138.85	34.05	74.88	10.2%	87.3%	2.5%
	平成20年度	398,663	138.94	34.35	74.95	11.1%	86.6%	2.3%
女子全体計	平成22年度	101,489	140.17	34.12	75.86	8.0%	89.5%	2.5%
	平成21年度	486,813	140.19	34.05	75.83	8.0%	89.4%	2.6%
	平成20年度	382,617	140.20	34.26	75.88	8.7%	89.0%	2.4%

2 | 体格の全国平均

身長

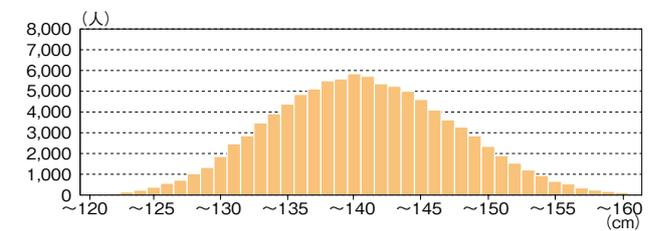
● 男子

児童数	平均値	標準偏差
104,493人	138.78cm	6.05



● 女子

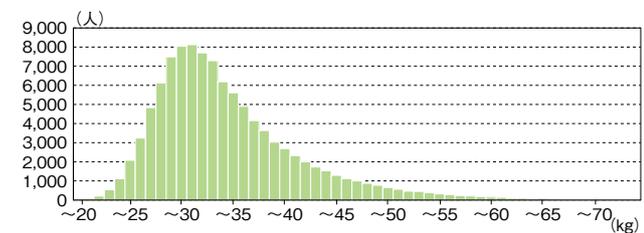
児童数	平均値	標準偏差
100,175人	140.17cm	6.74



体重

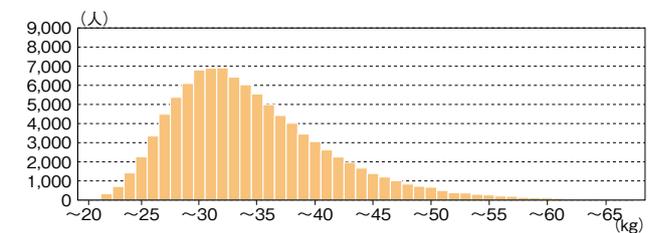
● 男子

児童数	平均値	標準偏差
104,453人	34.08kg	7.24



● 女子

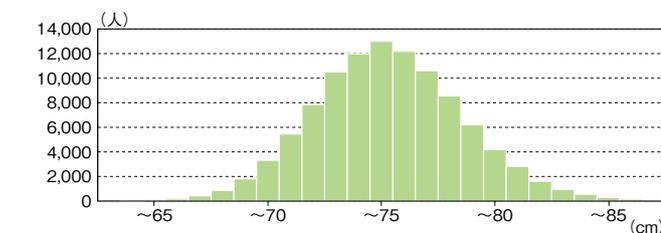
児童数	平均値	標準偏差
100,044人	34.12kg	6.90



座高

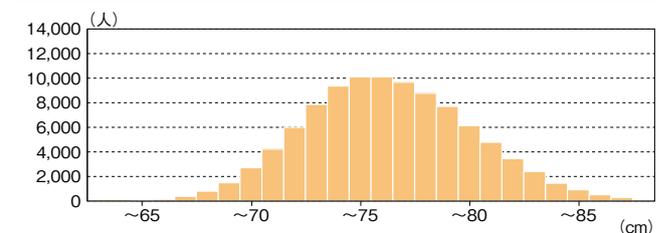
● 男子

児童数	平均値	標準偏差
103,638人	74.88cm	3.28

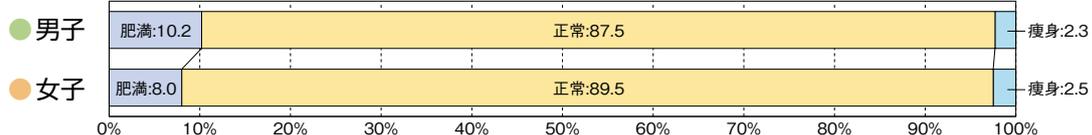


● 女子

児童数	平均値	標準偏差
99,420人	75.86cm	3.78



肥満傾向児・痩身傾向児の出現率



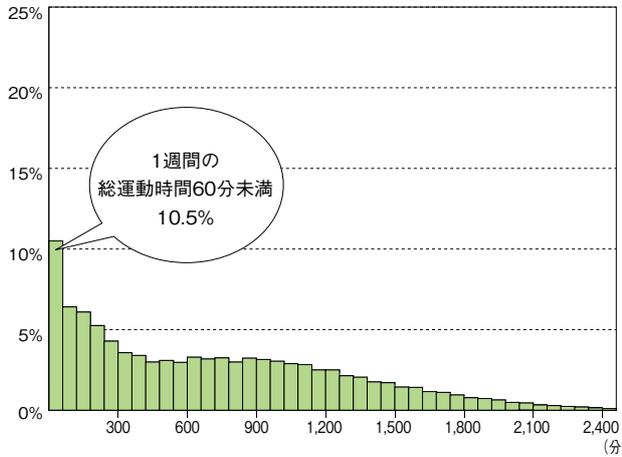
3. 児童の運動習慣と体力～1週間の総運動時間から

(平成22年度調査)

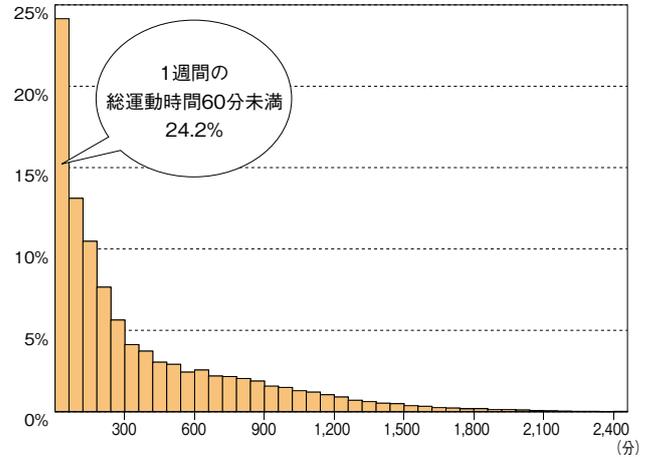
1 | 1週間の総運動時間の分布

1週間の総運動時間の分布は、運動をほとんどしない児童が多く、特に女子においては顕著であった。

● 男子



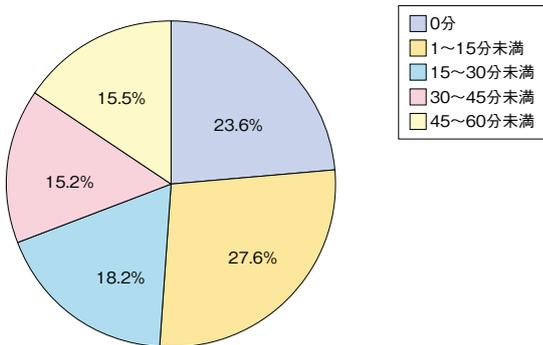
● 女子



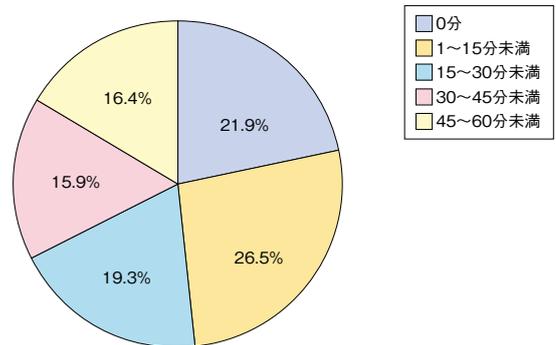
2 | 1週間の総運動時間が60分未満の詳細

1週間の総運動時間が60分未満の児童のうち、男子の23.6%、女子の21.9%が0分であった。

● 男子



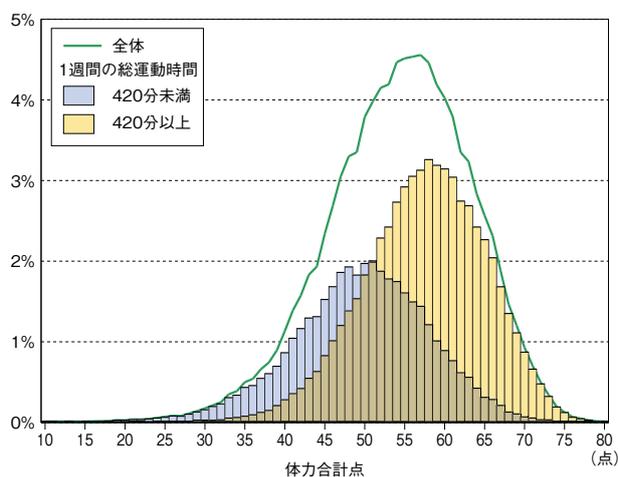
● 女子



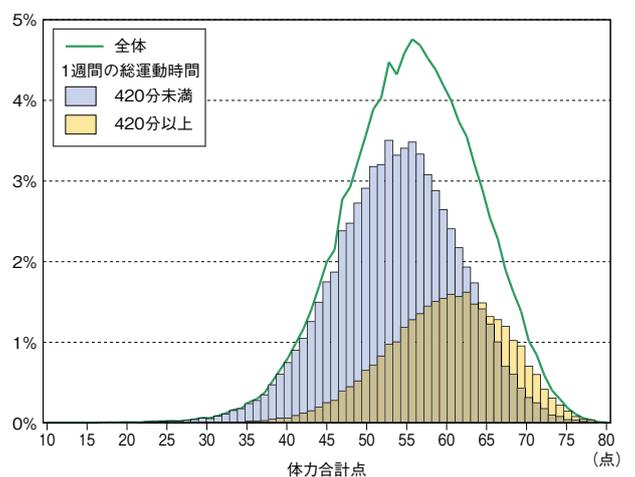
3 | 1週間の総運動時間と体力合計点との関連

男女とも、総運動時間が長い児童の方が、体力合計点が高い傾向がみられた。

● 男子



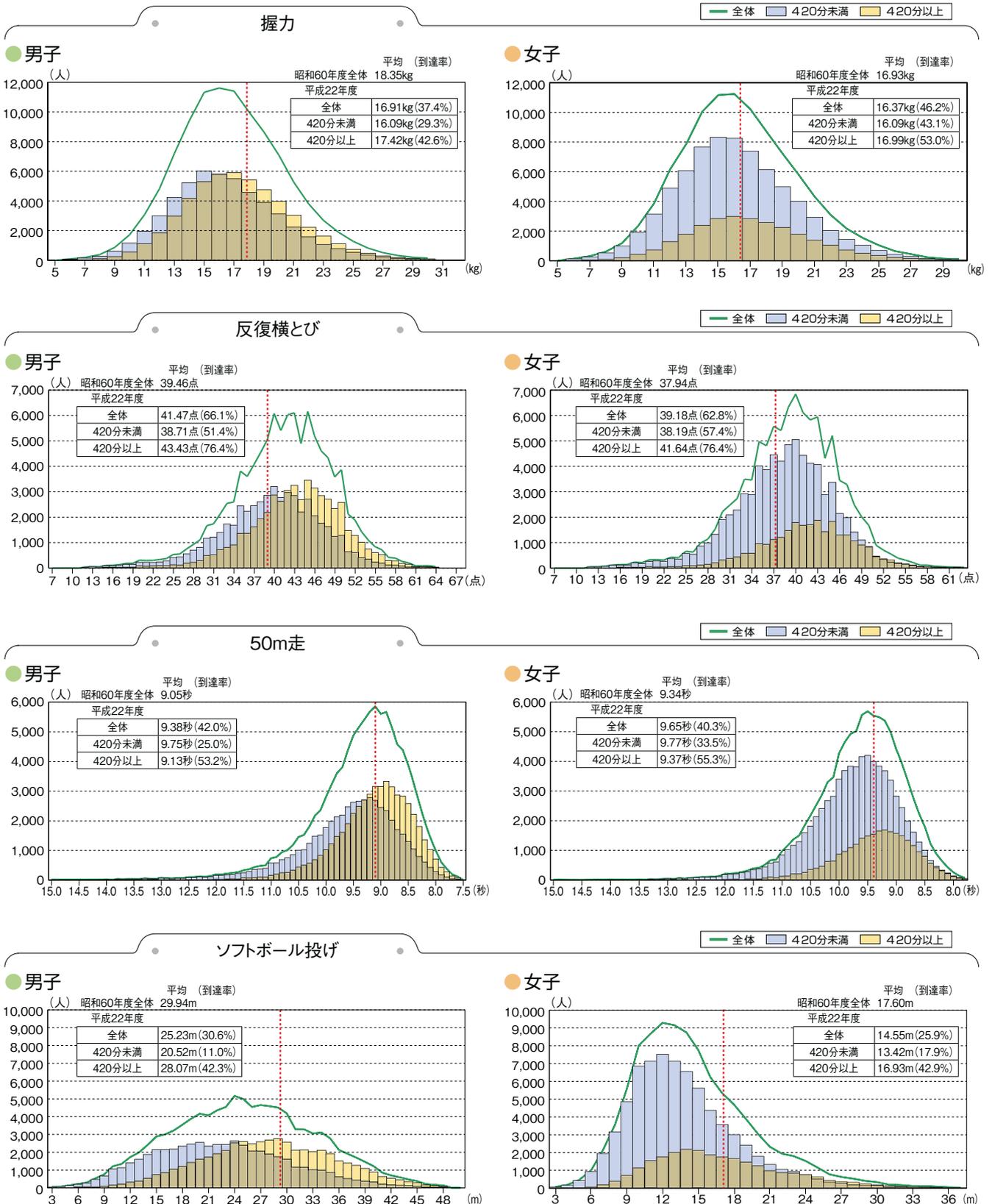
● 女子



1週間の総運動時間からみた昭和60年度水準の到達率

- ①昭和60年度と比較可能な種目すべてにおいて、男女とも、1週間の総運動時間が420分以上の児童は、420分未満の児童に比べて、昭和60年度水準到達率（各種目の昭和60年度平均値に到達した児童の割合）が高かった。
- ②50m走は、男女とも、1週間の総運動時間が420分未満の児童は、昭和60年度水準到達率が50%未満であったが、420分以上の児童は、昭和60年度水準到達率が50%を上回った。

※グラフ中の縦の点線は昭和60年度平均値、表中の到達率は昭和60年度水準到達率



4. 1週間の総運動時間が60分未満の児童の特徴

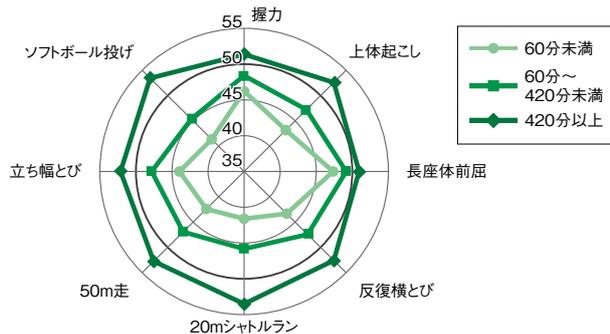
(平成22年度調査)

*児童のT得点(162ページ参照)や生活習慣・意識等の回答の割合を、1週間の総運動時間「60分未満」「60分以上420分未満」「420分以上」別に示し、それぞれを比較した。

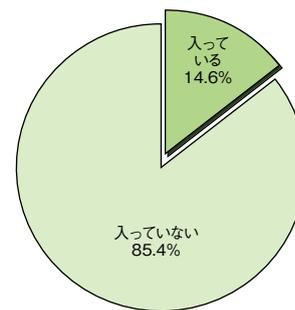
男子の特徴

- ① T得点は、すべての種目で低く、特に握力、長座体前屈以外では大きな差がみられた。
- ② 運動部やスポーツクラブの所属率は、14.6%であった。
- ③ 1日の睡眠時間は、「8時間未満」が52.0%であった。
- ④ 1日のテレビ等の視聴時間は、「3時間以上」が39.6%であった。
- ⑤ 家の人と運動やスポーツの話をする回数は、「まったくしない」が41.1%であった。
- ⑥ 「運動やスポーツが好き」が26.5%、「運動やスポーツをもっとしたいと思う」が21.3%であった。

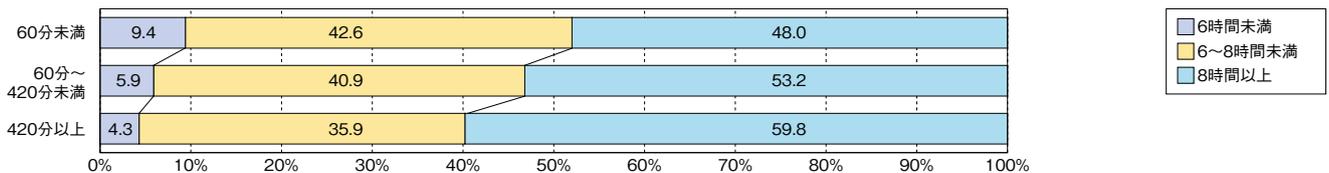
① 種目別T得点比較



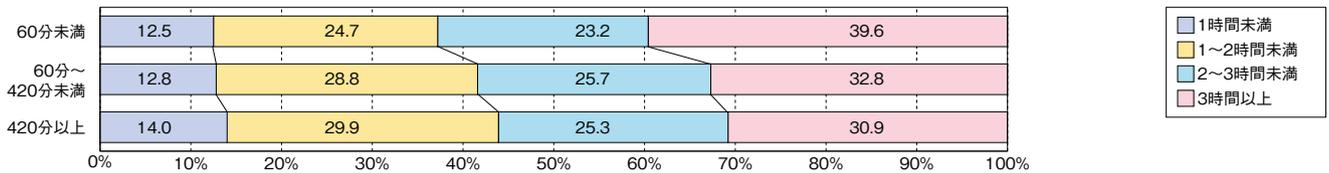
② 運動部やスポーツクラブの所属状況 (1週間の総運動時間が60分未満の児童)



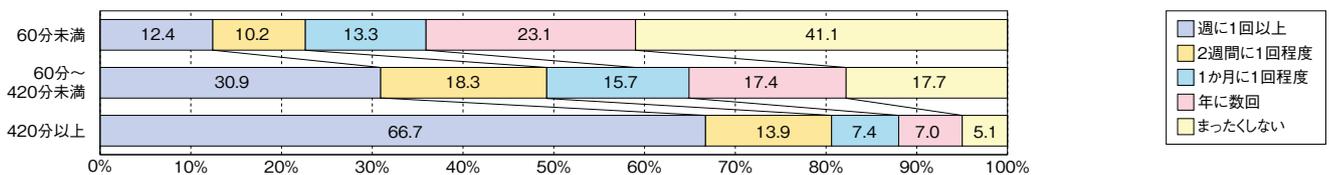
③ 1日の睡眠時間



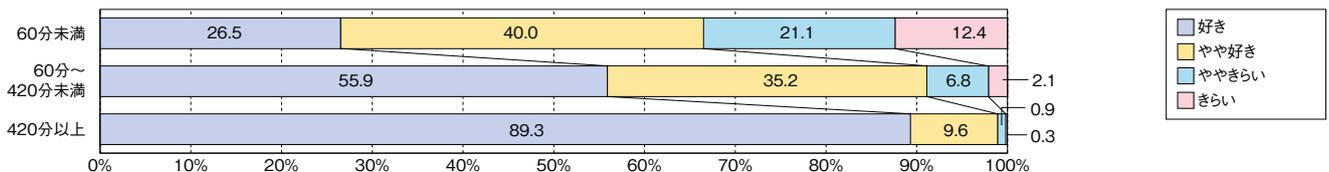
④ 1日のテレビ等の視聴時間



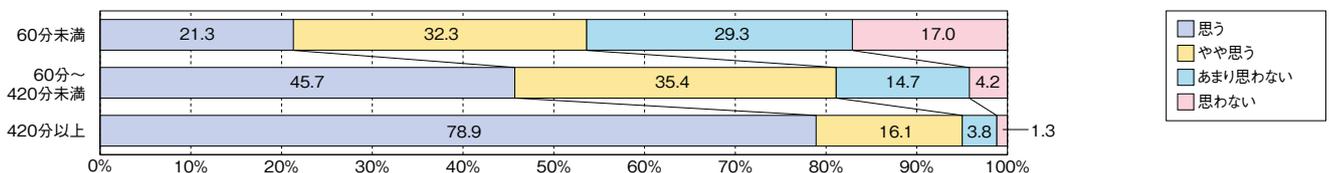
⑤ 家の人と運動やスポーツの話をする



⑥ 運動やスポーツの好き・嫌い



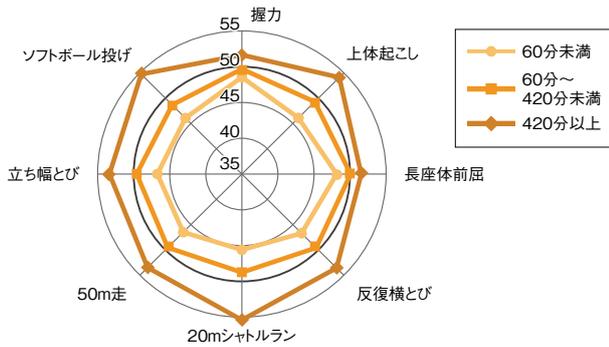
⑦ 運動やスポーツをもっとしたいと思う



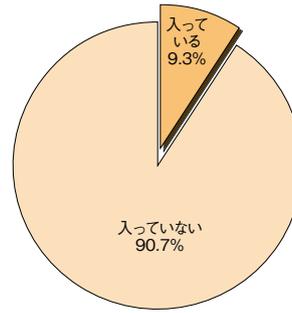
女子の特徴

- ① T得点は、すべての種目で低く、特に握力、長座体前屈以外では大きな差がみられた。
- ② 運動部やスポーツクラブの所属率は、9.3%であった。
- ③ 1日の睡眠時間は、「8時間未満」が46.6%であった。
- ④ 1日のテレビ等の視聴時間は、「3時間以上」が30.3%であった。
- ⑤ 家の人と運動やスポーツの話をする回数は、「まったくしない」が28.9%であった。
- ⑥ 「運動やスポーツが好き」が25.9%、「運動やスポーツをもっとしたいと思う」が22.8%であった。

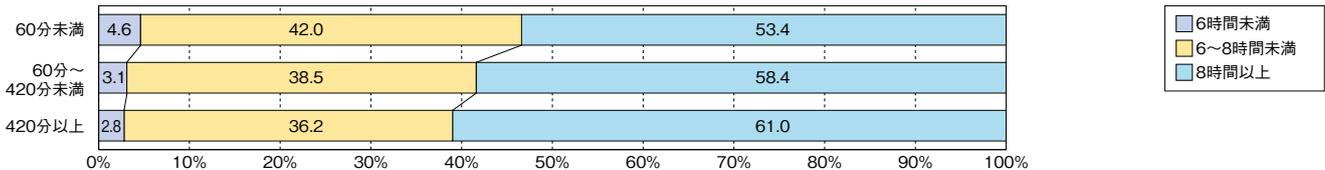
① 種目別T得点比較



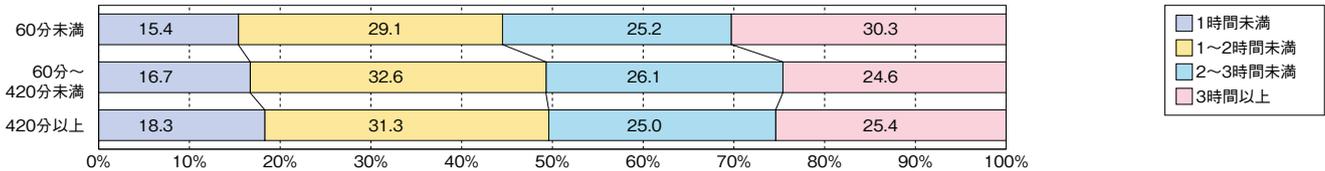
② 運動部やスポーツクラブの所属状況 (1週間の総運動時間が60分未満の児童)



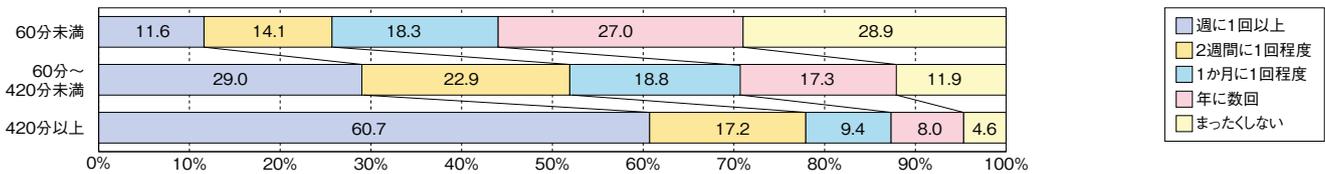
③ 1日の睡眠時間



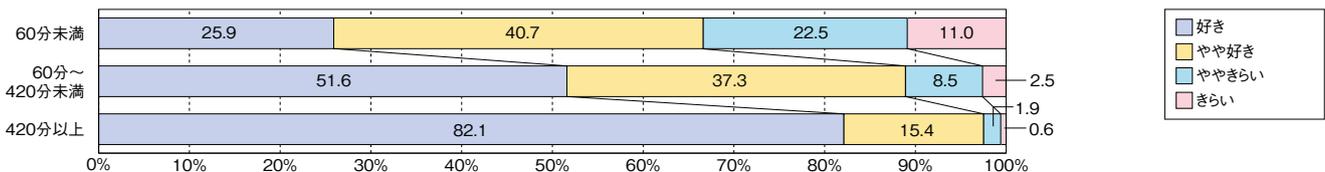
④ 1日のテレビ等の視聴時間



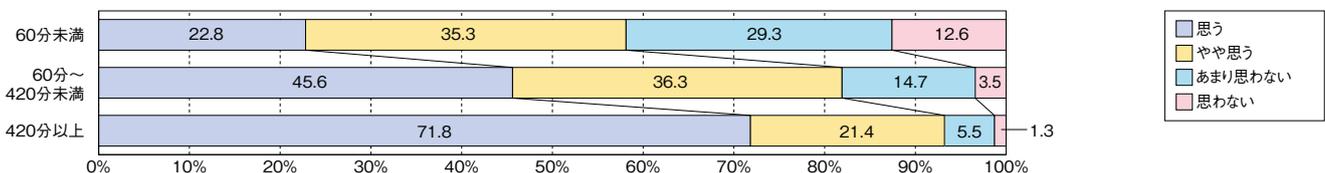
⑤ 家の人と運動やスポーツの話をする



⑥ 運動やスポーツの好き・きらい



⑦ 運動やスポーツをもっとしたいと思う



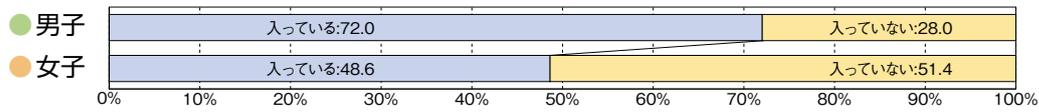
5. 児童の運動・生活・食習慣と体力との関連

(平成22年度調査、4のみ平成20年度調査)

1 | 運動習慣の状況

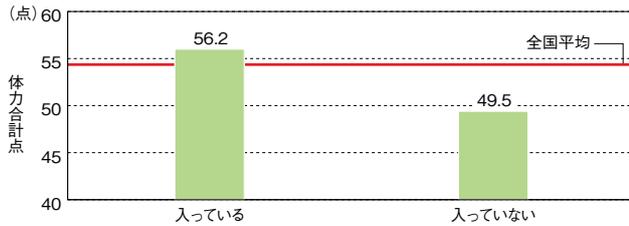
① 運動部やスポーツクラブへの所属状況

男女とも、運動部やスポーツクラブに「入っている」集団は、「入っていない」集団に比べて、体力合計点が高かった。

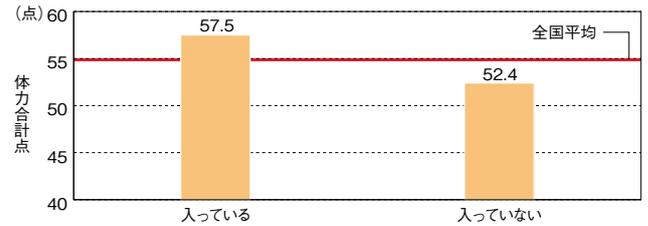


運動部やスポーツクラブへの所属と体力合計点との関連

男子

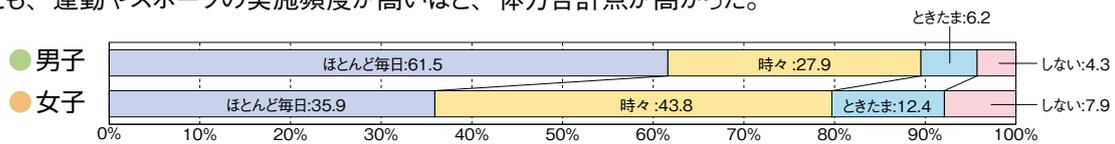


女子



② 運動やスポーツの実施頻度

男女とも、運動やスポーツの実施頻度が高いほど、体力合計点が高かった。

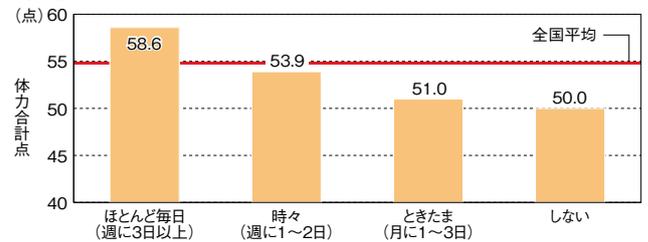


運動やスポーツの実施頻度と体力合計点との関連

男子

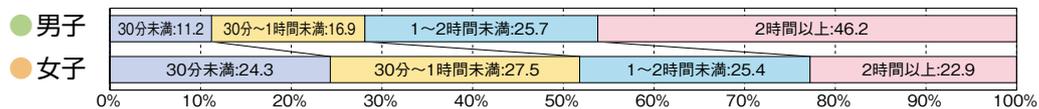


女子



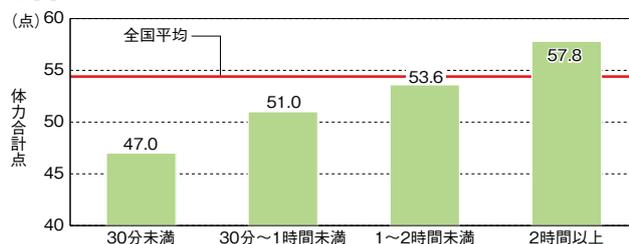
③ 運動やスポーツの1日の実施時間

男女とも、運動やスポーツをするときの1日の実施時間が長いほど、体力合計点が高かった。

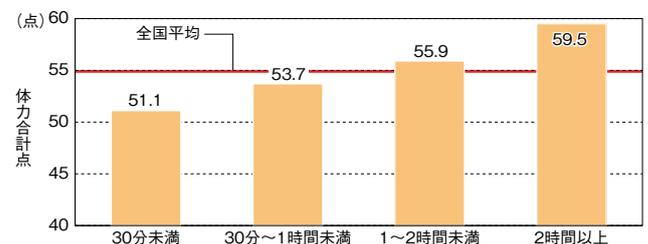


1日の運動やスポーツの実施時間と体力合計点との関連

男子

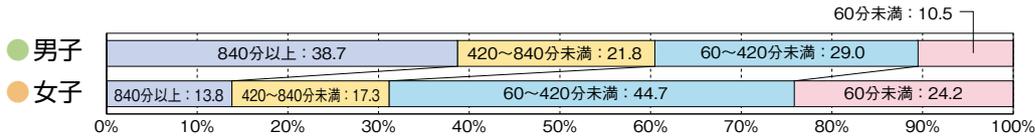


女子



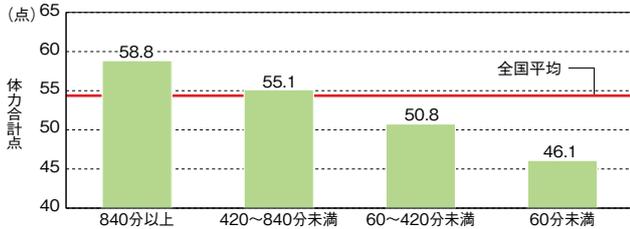
④ 1週間の総運動時間

1週間の総運動時間が長いほど、体力合計点が高かった。

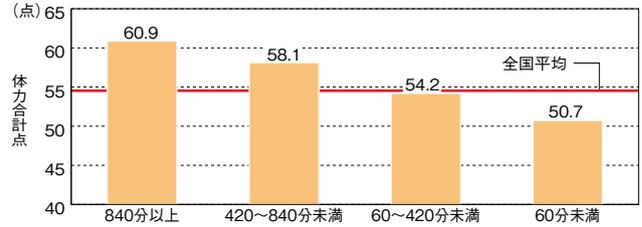


1週間の総運動時間と体力合計点との関連

男子



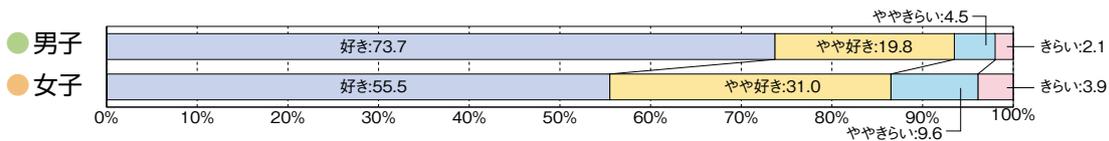
女子



2 | 運動やスポーツに関する意識

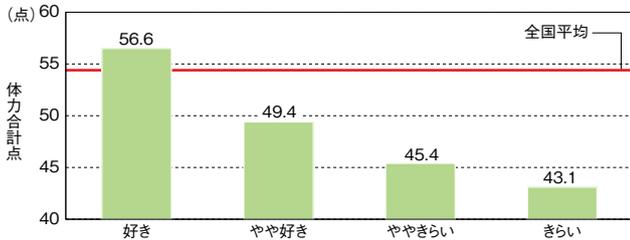
① 運動やスポーツの好き・きらい

男女とも、運動やスポーツをすることが「好き」の集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高かった。

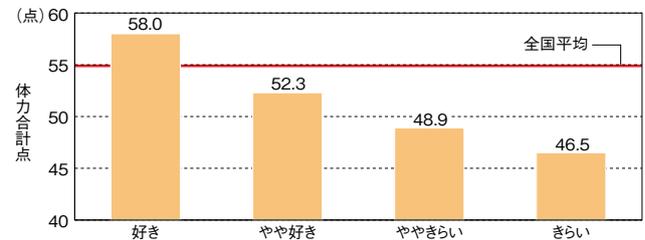


「運動やスポーツをすることは好きですか」についての回答と体力合計点との関連

男子

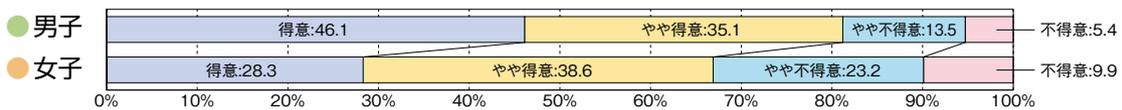


女子



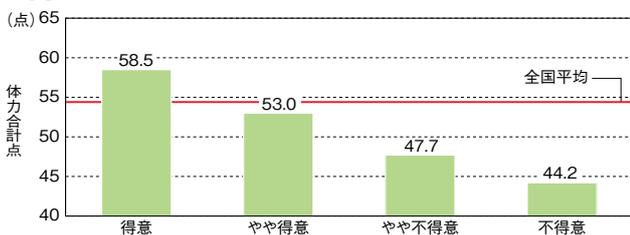
② 運動やスポーツの得意・不得意

男女とも、運動やスポーツをすることが「得意」の集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高かった。

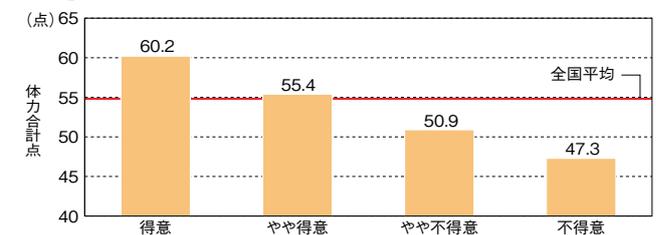


「運動やスポーツをすることは得意ですか」についての回答と体力合計点との関連

男子



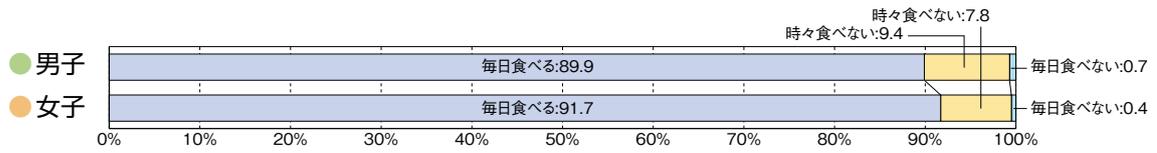
女子



3 | 生活習慣の状況

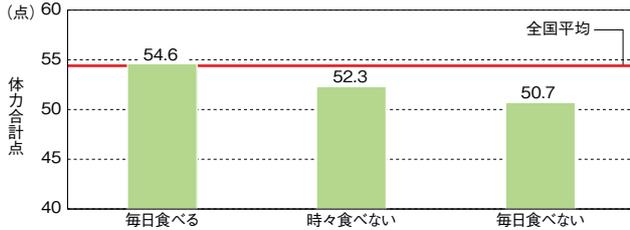
① 朝食の摂取状況

男女とも、朝食を「毎日食べる」集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高かった。

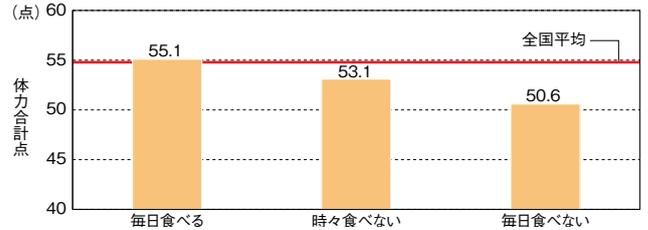


朝食の摂取状況と体力合計点との関連

● 男子

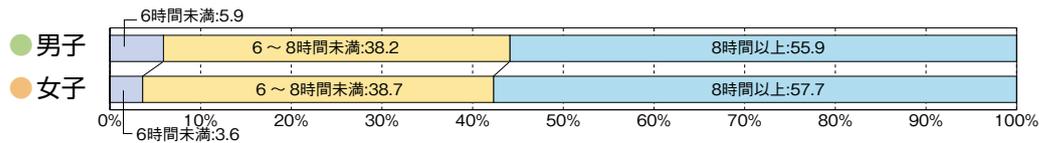


● 女子



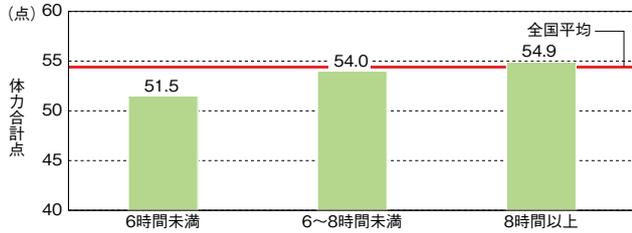
② 睡眠時間

男女とも、1日の睡眠時間が「8時間以上」の集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高かった。

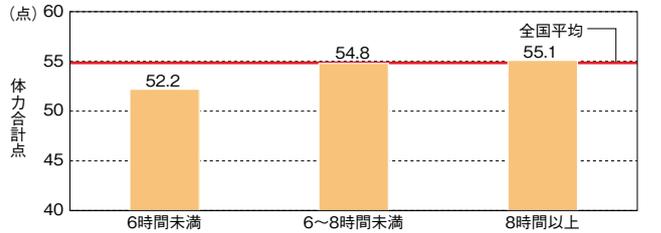


1日の睡眠時間と体力合計点との関連

● 男子

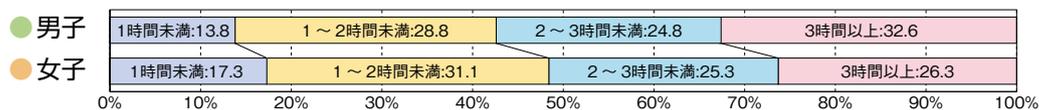


● 女子



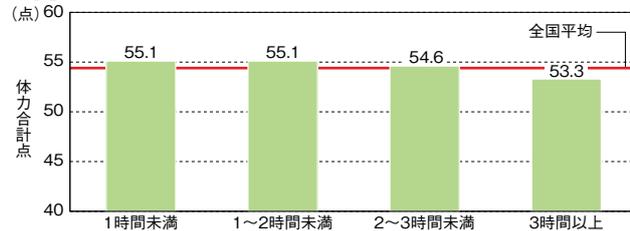
③ テレビ等の視聴時間

男女とも、1日のテレビ（テレビゲームを含む）の視聴時間が「3時間以上」の集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が低かった。

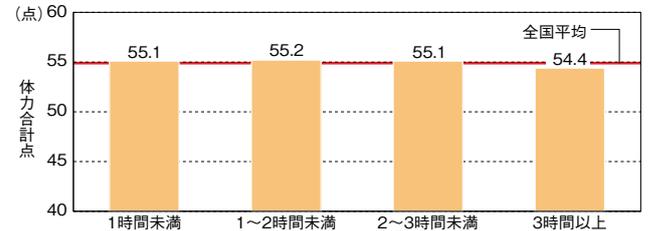


1日のテレビ等の視聴時間と体力合計点との関連

● 男子



● 女子



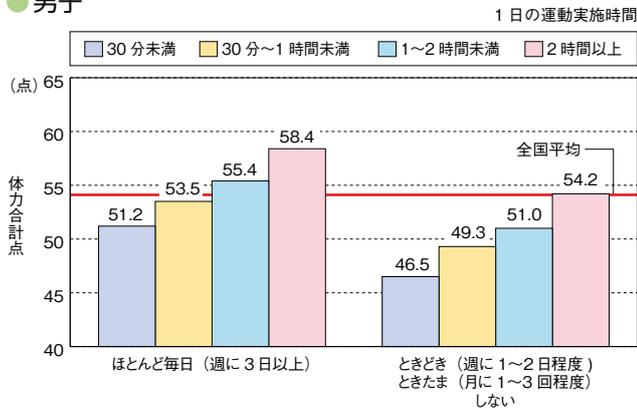
4 | 運動習慣・生活習慣と体力の関連（平成20年度）

① 運動習慣と体力の関連

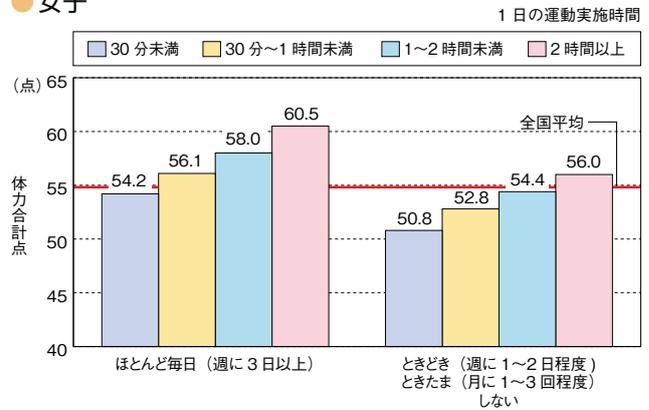
男女とも、「運動・スポーツをほとんど毎日（週3日以上）する」集団と、それ以外の集団では体力合計点に差がみられた。とりわけ、1日の運動時間が2時間以上の集団は体力合計点が高い傾向がみられた。

運動やスポーツの実施頻度・実施時間の体力合計点との関連

● 男子



● 女子

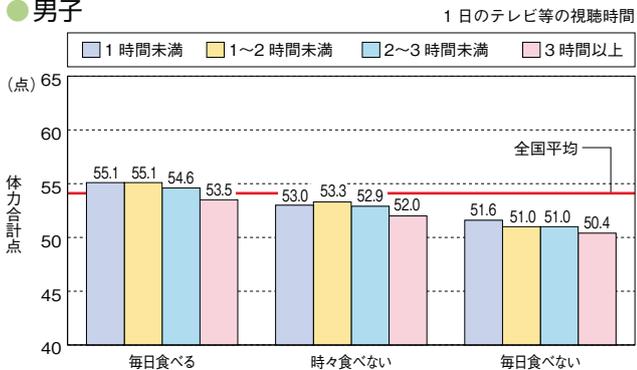


② 生活習慣と体力の関連

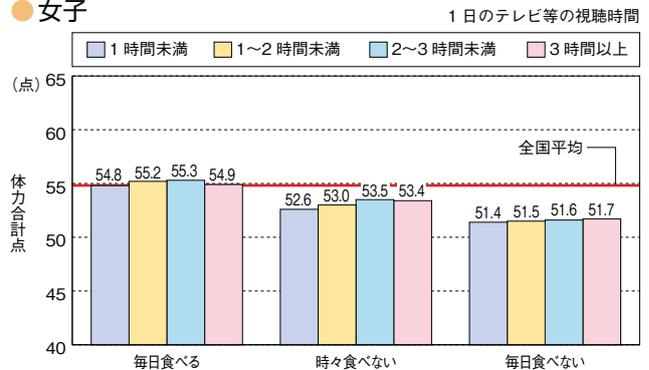
男女とも、朝食を「毎日食べる」集団は、それ以外の集団より体力合計点が高い傾向がみられた。また男子では、テレビ等の視聴時間が長くなると体力合計点が低くなる傾向がみられるが、女子ではテレビ等の視聴時間と体力合計点との相関はあまりみられなかった。

朝食の摂取状況・1日のテレビ等の視聴時間の体力合計点との関連

● 男子



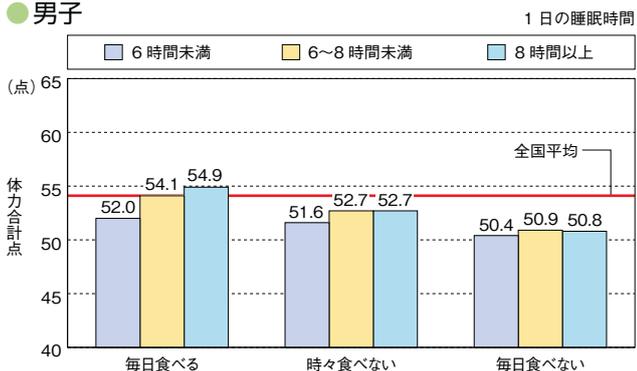
● 女子



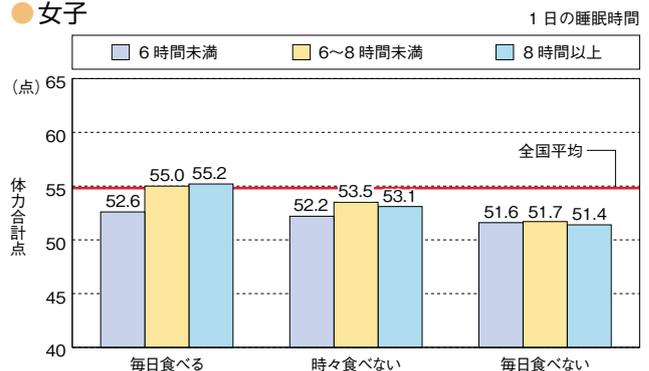
男女とも、朝食を「毎日食べない」集団は、1日の睡眠時間にかかわらず、体力合計点が低かった。

朝食の摂取状況・睡眠時間の体力合計点との関連

● 男子



● 女子

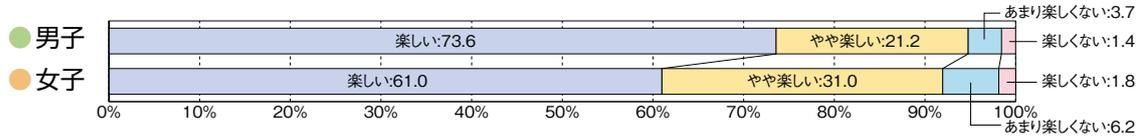


1 | 体育の授業に関する意識

① 楽しさに関する意識

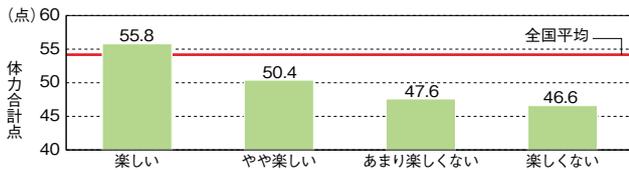
● 体育の授業は楽しいですか

男女とも、体育の授業が「楽しい」集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向がみられた。

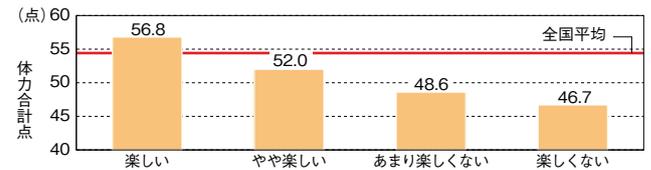


「体育の授業は楽しいですか」についての回答と体力合計点との関連

● 男子



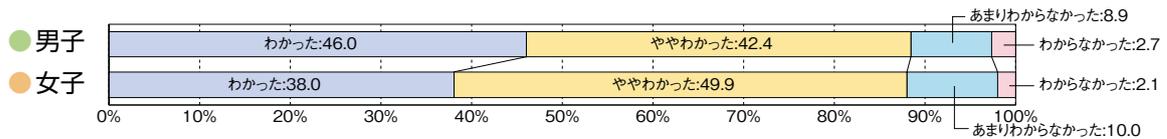
● 女子



② 体の動かし方やコツに関する理解

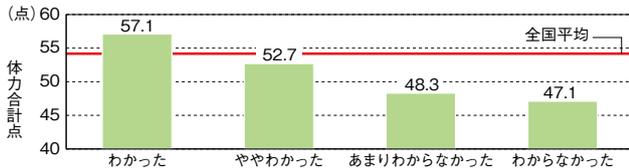
● 体育の授業では、体の動かし方や、うまくなるためのコツがわかりましたか

男女とも、体育の授業で体の動かし方やうまくなるためのコツが「わかった」集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向がみられた。

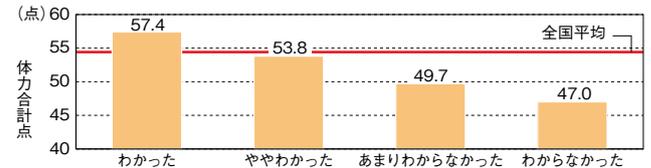


「体育の授業では、体の動かし方や、うまくなるためのコツがわかりましたか」についての回答と体力合計点との関連

● 男子



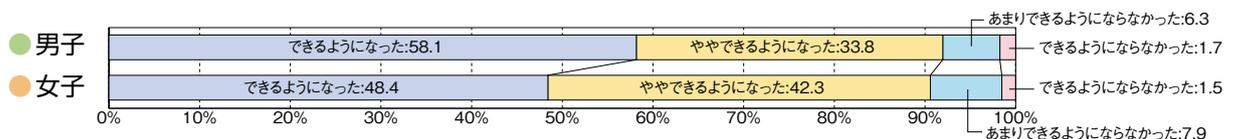
● 女子



③ 運動やスポーツの上達に関する意識

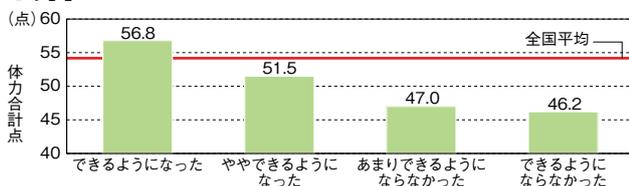
● 体育の授業では、運動やスポーツが今までよりもうまくできるようになりましたか

男女とも、体育の授業で運動やスポーツが今までよりもうまく「できるようになった」集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向がみられた。

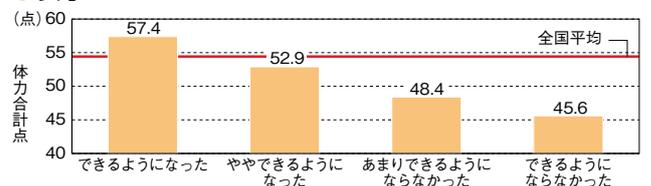


「体育の授業では、運動やスポーツが今までよりもうまくできるようになりましたか」についての回答と体力合計点との関連

● 男子



● 女子

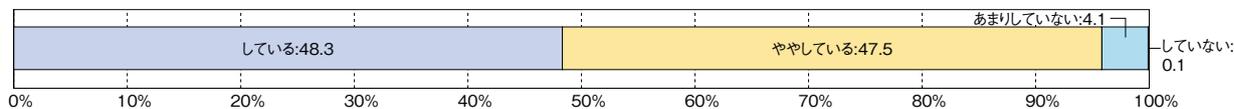


2 | 体育の授業に関する取組

① 運動ができるようになるための指導の重視

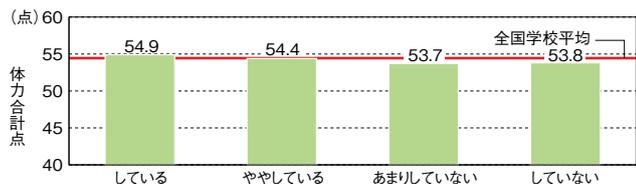
- 体育の授業では、体の動かし方や運動の仕方を理解させながら、運動ができるようになるための指導を重視していますか

体育の授業で、体の動かし方や運動の仕方を理解させながら、運動ができるようになるための指導を重視「している」+「ややしている」学校は、95.8%であった。

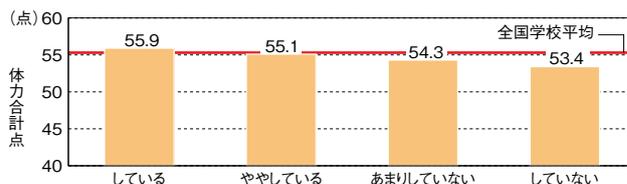


「体育の授業では、体の動かし方や運動の仕方を理解させながら、運動ができるようになるための指導を重視していますか」についての回答と学校の体力合計点との関連

● 男子



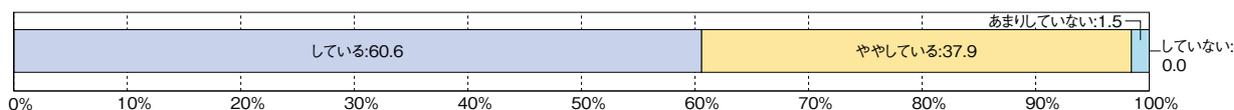
● 女子



② 運動量の確保の工夫

- 体育の授業では、児童の適切な運動量が確保できるように指導を工夫していますか

体育の授業で、児童の適切な運動量が確保できるように指導を工夫「している」+「ややしている」学校は、98.5%であった。



「体育の授業では、児童の適切な運動量が確保できるように指導を工夫していますか」についての回答と学校の体力合計点との関連

● 男子



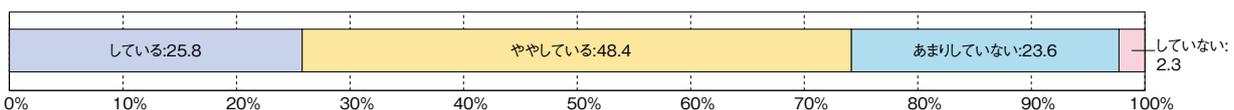
● 女子



③ 運動の習慣化への取組

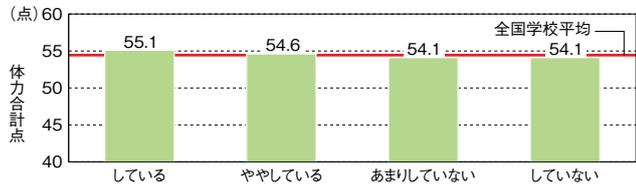
- 体育の授業では、運動しない児童に運動を習慣化させるための取組をしていますか

体育の授業で、運動しない児童に運動を習慣化させるための取組を「している」+「ややしている」学校は、74.2%であった。

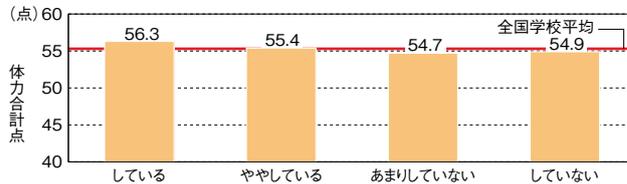


「体育の授業では、運動しない児童に運動を習慣化させるための取組をしていますか」についての回答と学校の体力合計点との関連

● 男子



● 女子

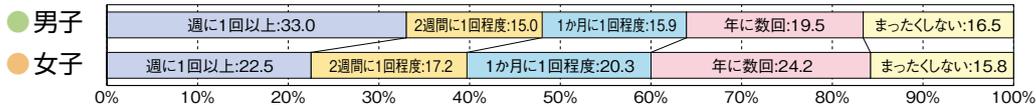


7. 家庭における運動やスポーツとの関わり

(平成22年度調査)

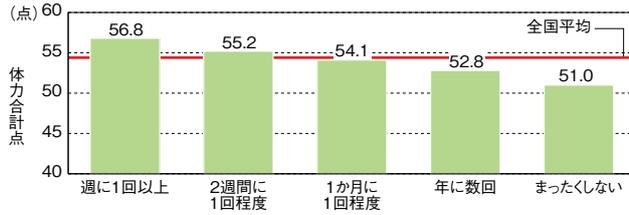
① 家の人と運動やスポーツをする

男女とも、家の人と一緒に、運動やスポーツをする集団は、「まったくしない」集団に比べて、体力合計点が高かった。

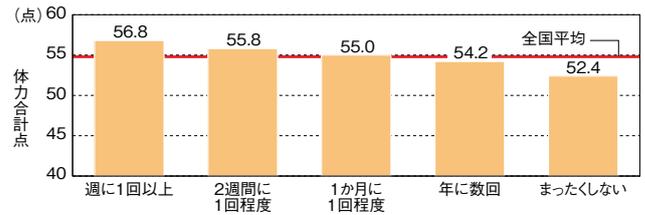


家の人と一緒に、運動やスポーツをする頻度と体力合計点との関連

男子

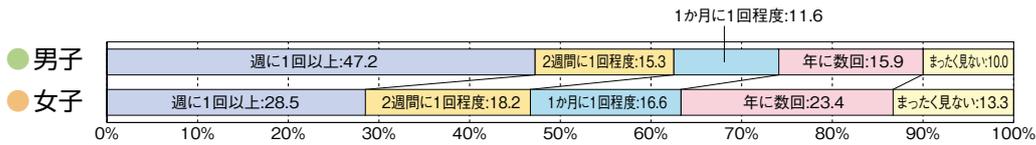


女子



② 家の人とスポーツを見る(観る)

男女とも、家の人と一緒に、スポーツを見る集団は、「まったく見ない」集団に比べて、体力合計点が高かった。

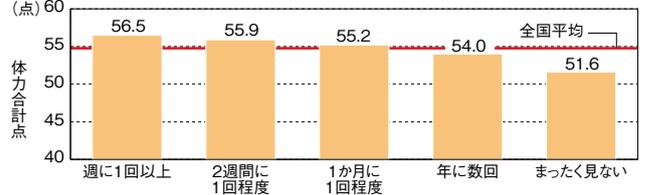


家の人と一緒に、スポーツを見る頻度と体力合計点との関連

男子

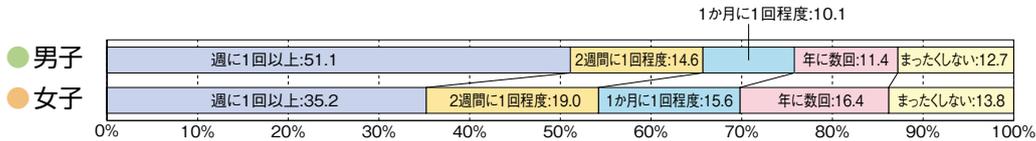


女子



③ 家の人と運動やスポーツの話をする

男女とも、家の人と一緒に、運動やスポーツについて話をする集団は、「まったくしない」集団に比べて、体力合計点が高かった。



家の人と一緒に、運動やスポーツの話をする頻度と体力合計点との関連

男子



女子



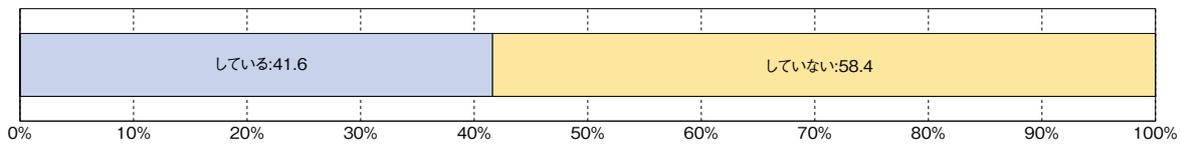
8. 学校の地域・家庭との連携

(平成22年度調査)

① 学校の活動への地域人材の活用

- 学校の運動やスポーツに関する活動に、地域の人材を活用していますか

学校の運動やスポーツに関する活動に、地域の人材の活用を「している」学校は、41.6%であった。

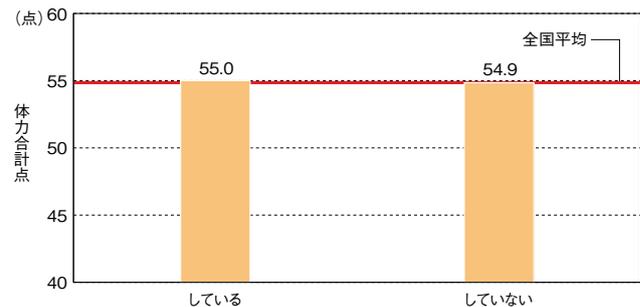


地域人材の活用と体力合計点との関連

● 男子



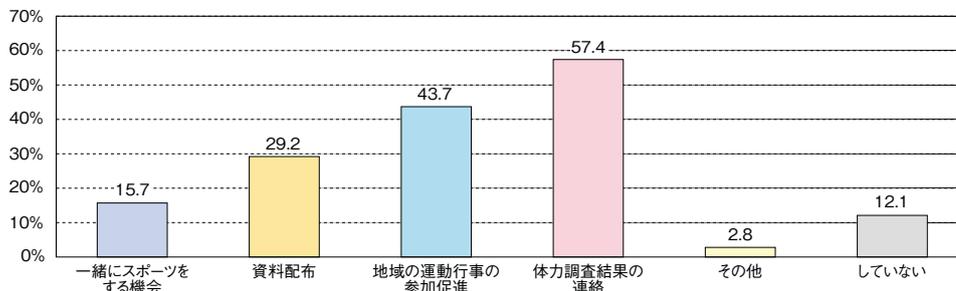
● 女子



② 家庭との連携

- 運動やスポーツ、子どもの体力について、家庭とどのような連携をしていますか（複数回答可）

「体力に関する調査の結果を家庭に連絡している」が57.4%で最も高く、次いで「地域の運動行事の参加促進」が43.7%であった。また、「していない」が12.1%であった。

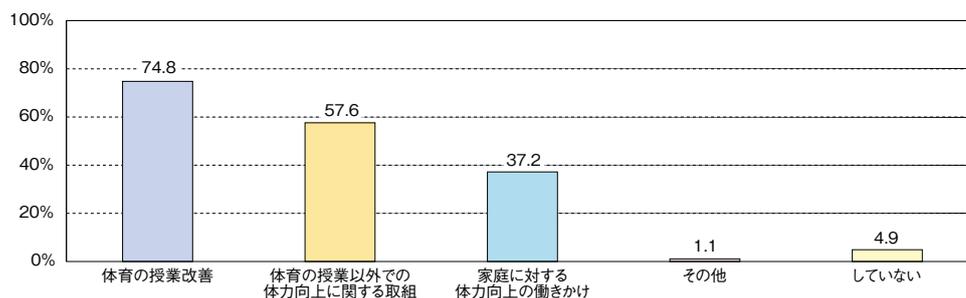


③ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた取組

- 学校において、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえ、どのような取組をしましたか（取り組む予定ですか）（複数回答可）

①「体育の授業改善に取り組んだ（取り組む予定である）」が74.8%で最も高く、次いで「体育の授業以外で、児童の体力向上に関する取組を行った（行う予定である）」が57.6%であった。

②調査の結果を踏まえた取組（取り組む予定を含む）を「していない」学校は、4.9%であった。



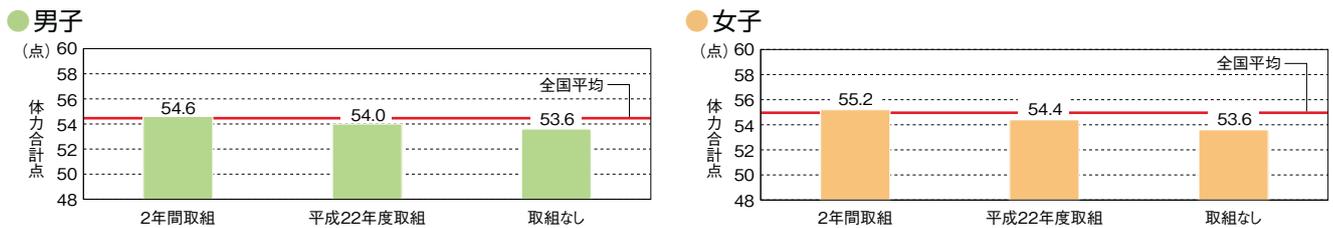
9. 平成20～22年度の3年間追跡調査

1 前年度の結果を踏まえた学校の取組の継続状況と、体力・地域・家庭連携との関連

■ 平成21、22年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえ、どのような取組をしましたか（取り組む予定ですか）」に対する回答をもとに、学校を以下の3群に分類した。（3,397校）
 「2年間取組」群 ……平成21、22年度ともに、取組をした（取り組む予定である）と回答した学校
 「平成22年度取組」群 ……平成22年度だけに、取組をした（取り組む予定である）と回答した学校
 「取組なし」群 ……平成21、22年度ともに、取組をしていない（行う予定はない）と回答した学校

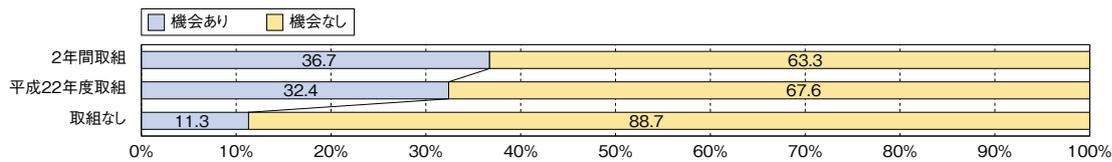
「2年間取組」群は、男女とも体力合計点が最も高く、「児童の運動やスポーツに関して、地域の関係団体などと話し合う機会がある」「運動やスポーツ、子どもの体力について家庭と連携している」割合が、いずれも最も高かった。

① 体力合計点



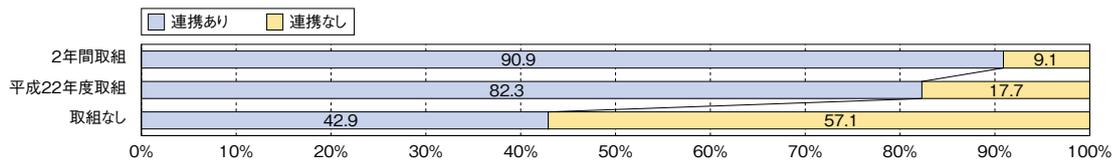
② 地域と話し合う機会の有無

● 児童の運動やスポーツに関して、地域の関係団体などと話し合う機会がありますか



③ 家庭との連携の有無

● 運動やスポーツ、子どもの体力について、家庭とどのような連携をしていますか



2 体力の維持・向上のための学校の取組

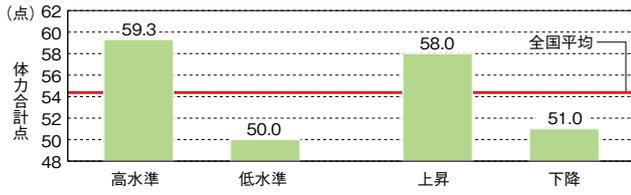
■ 平成20～22年度の3年間を通して回答を得た、男子2,348校、女子2,294校を分析対象とした。
 ■ 各年度の体力合計点をもとに、男女別に以下の4群を抽出した。
 「高水準」群…3年間の体力合計点が平均して高かった100校
 「低水準」群…3年間の体力合計点が平均して低かった100校
 「上昇」群…3年間の体力合計点の上昇が大きかった100校
 「下降」群…3年間の体力合計点の下降が大きかった100校

① 「高水準」群は「低水準」群よりも、体力合計点が男子で9.3点、女子で11.4点高く、1週間の総運動時間が男女ともに長かった。また、「高水準」群は「低水準」群よりも、男女とも、「児童の運動習慣を確立するための授業以外の手だて」「地域が実施する運動やスポーツに関する活動の運営への学校の関わり」「運動やスポーツ、子どもの体力についての家庭との連携」の「取組をしている」割合がいずれも高かった。

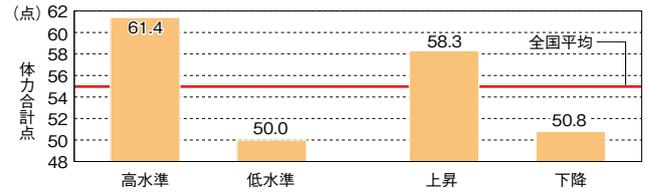
② 「上昇」群は「下降」群よりも、体力合計点が男女ともに7点以上高く、1週間の総運動時間が男女ともに長かった。また、「上昇」群は「下降」群よりも、男子の「児童の運動習慣を確立するための授業以外の手だて」「運動やスポーツ、子どもの体力についての家庭との連携」、男女の「地域が実施する運動やスポーツに関する活動の運営への学校の関わり」の「取組をしている」割合がいずれも高かった。

① 体力合計点

● 男子

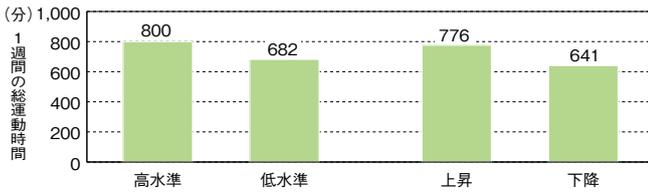


● 女子

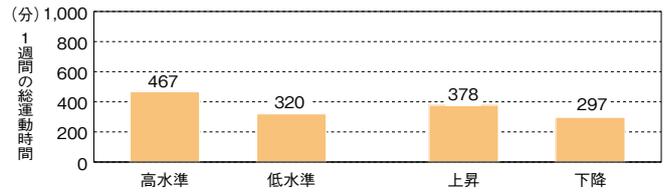


② 1週間の総運動時間

● 男子

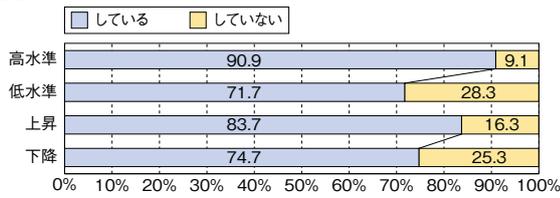


● 女子

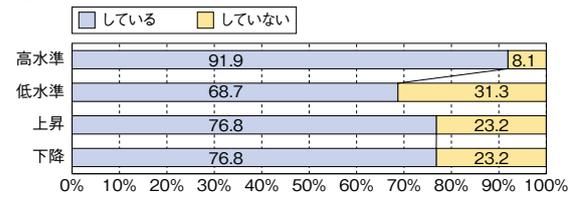


③ 児童の運動習慣を確立するための授業以外の手だて

● 男子

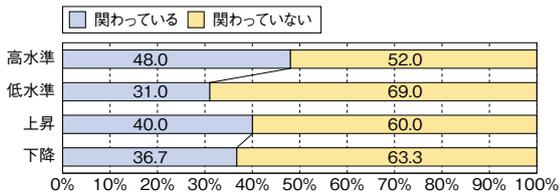


● 女子

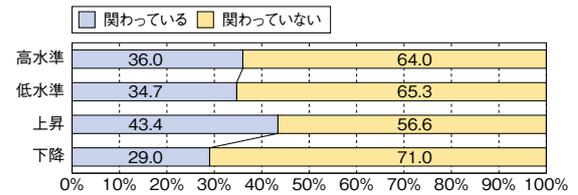


④ 地域が実施する運動やスポーツに関する活動の運営への学校の関わり

● 男子

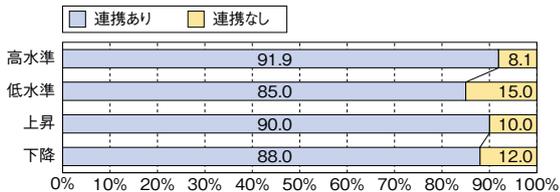


● 女子

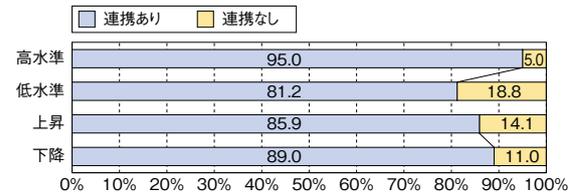


⑤ 運動やスポーツ、子どもの体力についての家庭との連携

● 男子



● 女子



II 中学校の調査結果

1. 実技に関する調査の結果

(平成22年度調査)

1 | 全国の状況の推移

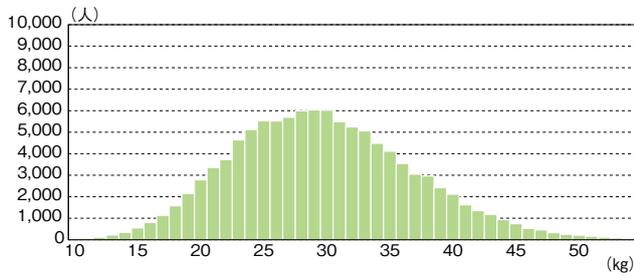
区分	年度	生徒数 (人)	種目別平均									体力 合計点 (点)	総合評価 (段階別)					
			握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	持久走 (秒)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)		A	B	C	D	E	AB-DE の差 (ポイント)
男子 全体計	平成22年度	109,361	29.70	26.87	42.97	51.01	397.36	84.15	8.05	195.31	21.18	41.54	6.3%	25.0%	38.9%	23.3%	6.5%	1.5
	平成21年度	471,604	29.82	26.67	42.89	50.48	396.81	83.13	8.05	194.65	21.25	41.30	6.3%	24.2%	38.8%	23.7%	7.0%	-0.2
	平成20年度	395,005	30.05	26.70	43.01	50.49	396.50	83.36	8.06	195.30	21.27	41.42	6.2%	24.6%	39.0%	23.6%	6.7%	0.5
女子 全体計	平成22年度	102,564	23.86	22.25	44.66	44.99	295.67	56.19	8.90	166.47	13.20	47.99	22.9%	33.0%	29.5%	12.3%	2.3%	41.3
	平成21年度	445,794	23.96	22.04	44.42	44.57	294.52	56.22	8.90	165.97	13.37	47.87	23.0%	32.7%	29.1%	12.7%	2.5%	40.5
	平成20年度	372,313	24.22	22.21	44.56	44.57	293.15	56.30	8.89	166.59	13.51	48.29	23.9%	33.1%	28.9%	12.0%	2.1%	42.9

2 | 調査種目及び体力合計点の全国の状況

握力

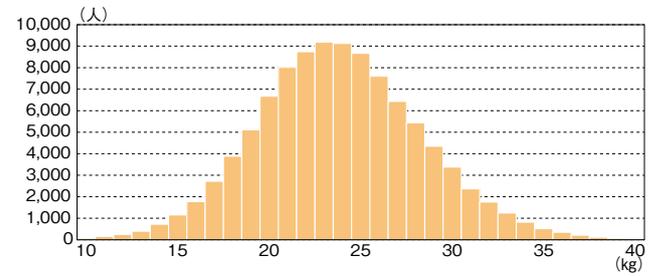
● 男子

生徒数	平均値	標準偏差
107,872人	29.70kg	7.13



● 女子

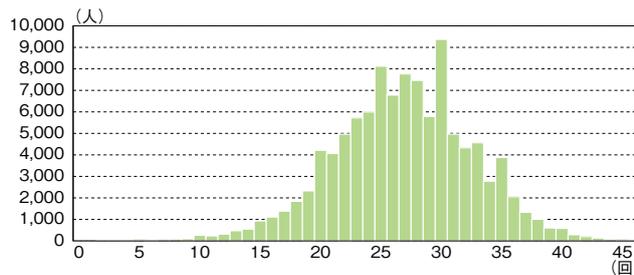
生徒数	平均値	標準偏差
101,373人	23.86kg	4.50



上体起こし

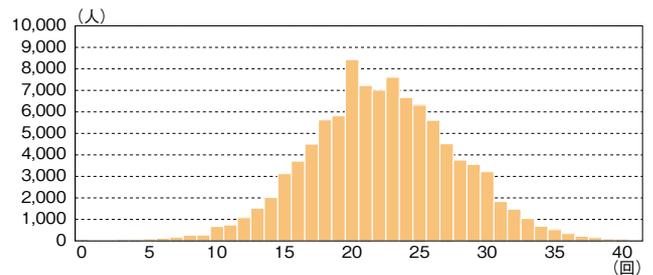
● 男子

生徒数	平均値	標準偏差
106,983人	26.87回	5.80



● 女子

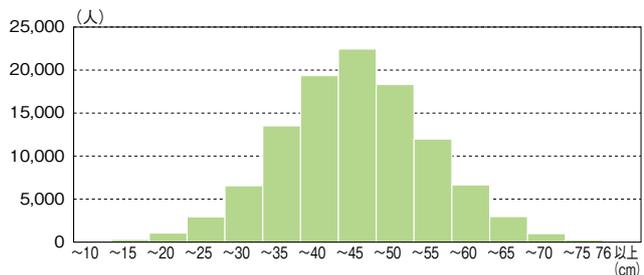
生徒数	平均値	標準偏差
100,470人	22.25回	5.51



長座体前屈

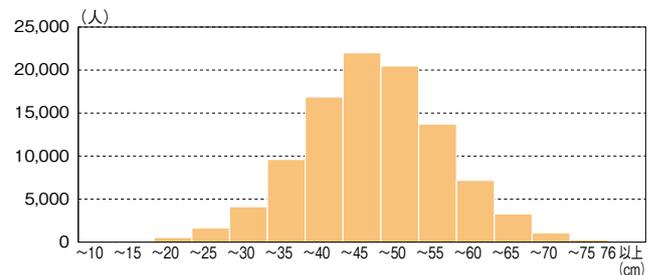
● 男子

生徒数	平均値	標準偏差
107,331人	42.97cm	9.90



● 女子

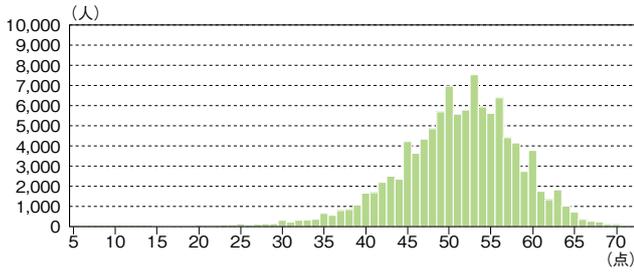
生徒数	平均値	標準偏差
100,971人	44.66cm	9.35



反復横とび

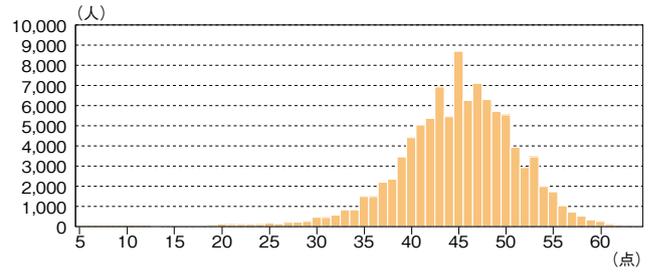
男子

生徒数	平均値	標準偏差
106,545人	51.01点	7.38



女子

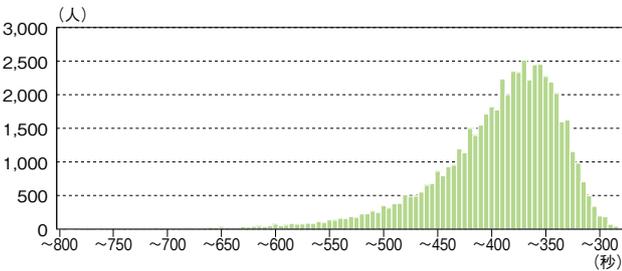
生徒数	平均値	標準偏差
100,037人	44.99点	6.28



持久走 (男子1500m、女子1000m)

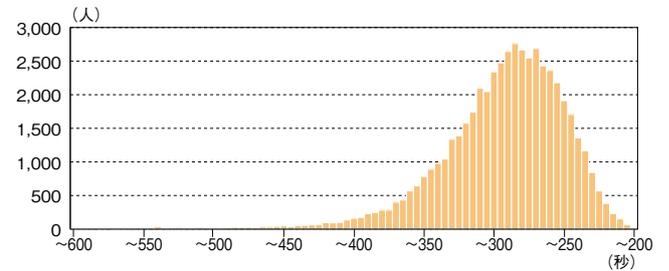
男子

生徒数	平均値	標準偏差
56,294人	397.36秒	62.57



女子

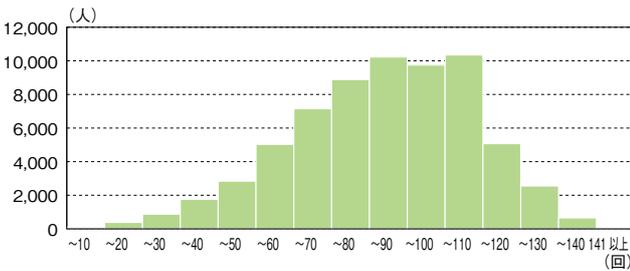
生徒数	平均値	標準偏差
52,017人	295.67秒	45.56



20mシャトルラン

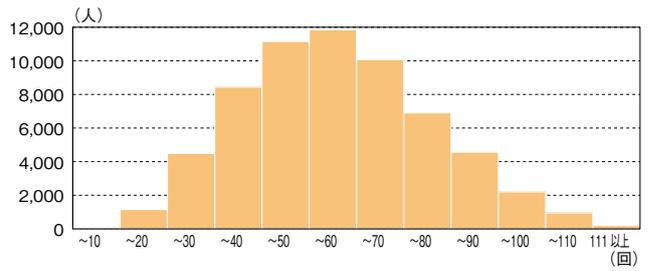
男子

生徒数	平均値	標準偏差
65,650人	84.15回	24.02



女子

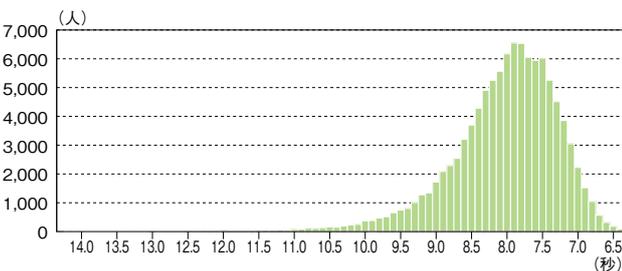
生徒数	平均値	標準偏差
62,062人	56.19回	19.97



50m走

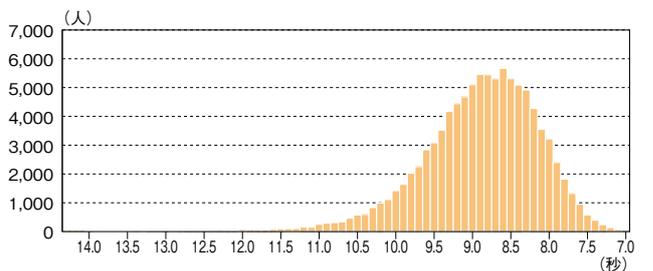
男子

生徒数	平均値	標準偏差
105,277人	8.05秒	0.79



女子

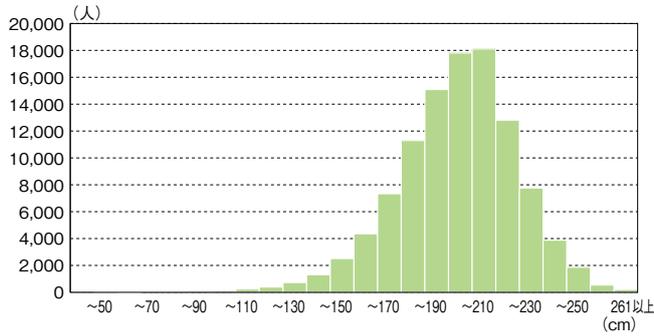
生徒数	平均値	標準偏差
98,443人	8.90秒	0.78



立ち幅とび

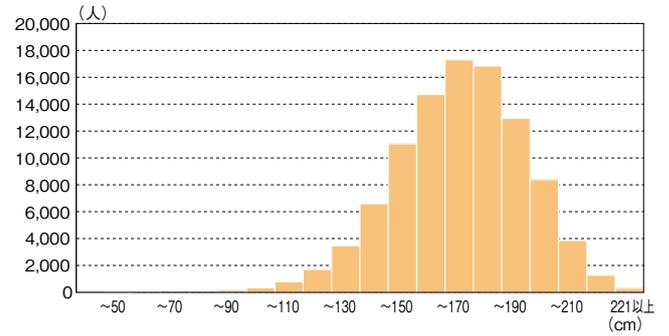
男子

生徒数	平均値	標準偏差
106,573人	195.31cm	25.57



女子

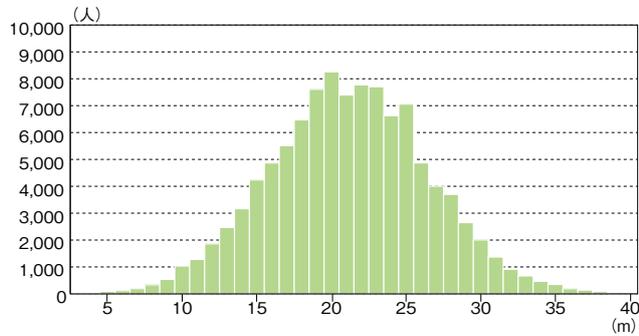
生徒数	平均値	標準偏差
100,004人	166.47cm	23.24



ハンドボール投げ

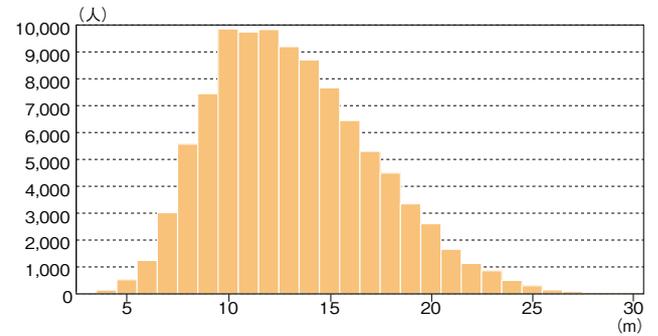
男子

生徒数	平均値	標準偏差
106,016人	21.18m	5.31



女子

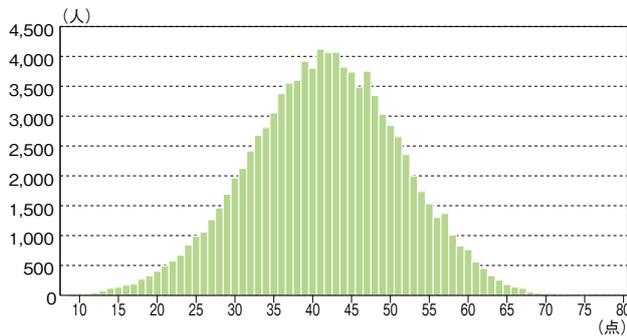
生徒数	平均値	標準偏差
99,843人	13.20m	3.98



体力合計点

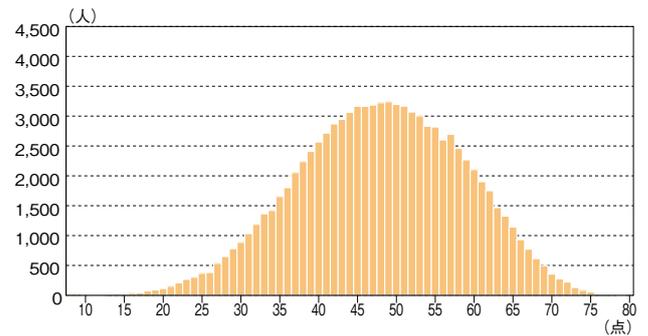
男子

生徒数	平均値	標準偏差
98,202人	41.54点	9.74

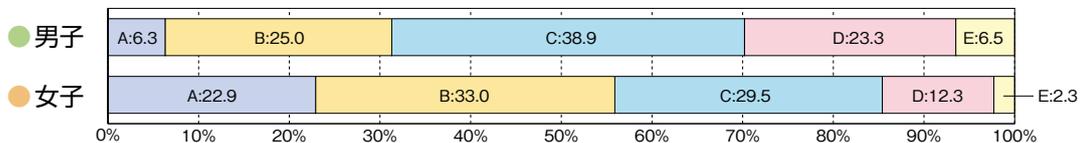


女子

生徒数	平均値	標準偏差
92,042人	47.99点	10.62



総合評価(段階別)



※得点基準は男女により異なる。

2. 体格と肥満度に関する調査の結果

(平成22年度調査)

1 | 全国の状況の推移

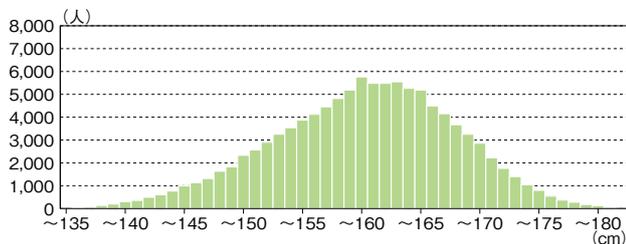
区分	年度	生徒数 (人)	体格平均			肥満傾向児・痩身傾向児の出現率		
			身長 (cm)	体重 (kg)	座高 (cm)	肥満	正常	痩身
男子全体計	平成22年度	109,361	159.79	48.99	84.41	8.6%	89.6%	1.8%
	平成21年度	471,604	159.79	48.92	84.34	8.7%	89.4%	1.9%
	平成20年度	395,005	159.99	49.35	84.44	9.4%	88.9%	1.8%
女子全体計	平成22年度	102,564	154.95	46.97	83.44	7.3%	88.9%	3.8%
	平成21年度	445,794	154.97	46.93	83.39	7.4%	88.7%	3.9%
	平成20年度	372,313	155.12	47.26	83.43	7.8%	88.8%	3.4%

2 | 体格の全国平均

身長

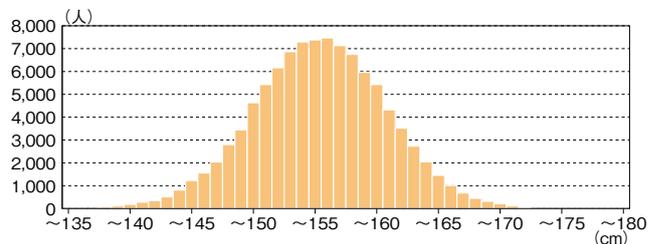
● 男子

生徒数	平均値	標準偏差
106,904人	159.79cm	7.69



● 女子

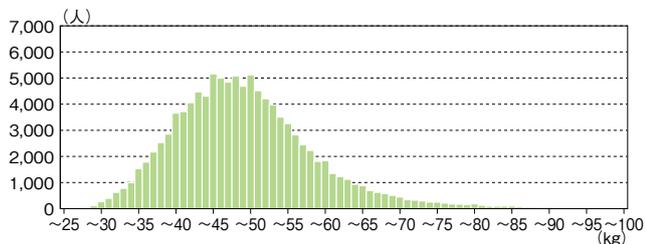
生徒数	平均値	標準偏差
100,778人	154.95cm	5.34



体重

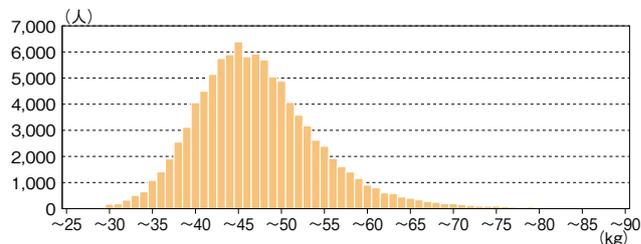
● 男子

生徒数	平均値	標準偏差
106,572人	48.99kg	9.67



● 女子

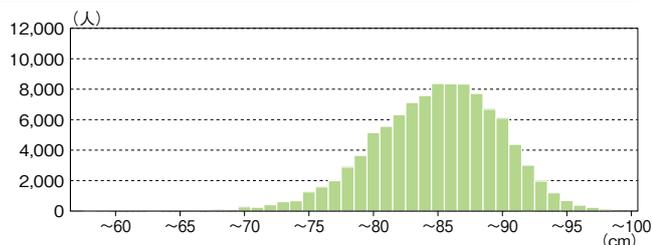
生徒数	平均値	標準偏差
99,066人	46.97kg	7.50



座高

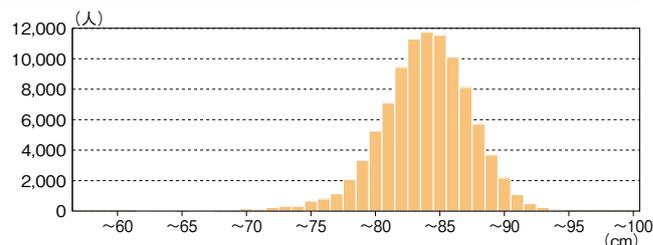
● 男子

生徒数	平均値	標準偏差
103,455人	84.41cm	4.99



● 女子

生徒数	平均値	標準偏差
97,449人	83.44cm	3.54



肥満傾向児・痩身傾向児の出現率



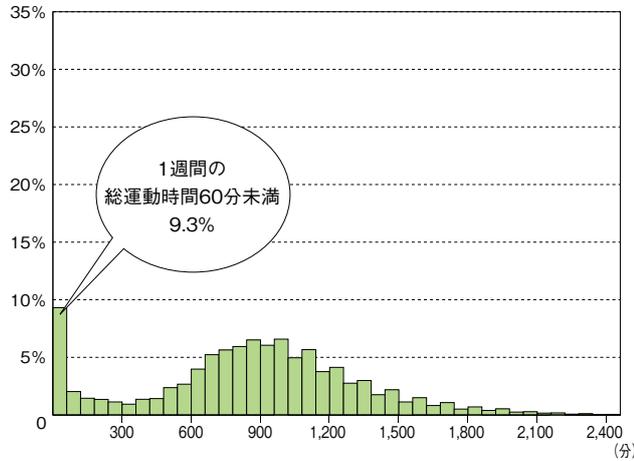
3. 生徒の運動習慣と体力～1週間の総運動時間から

(平成22年度調査)

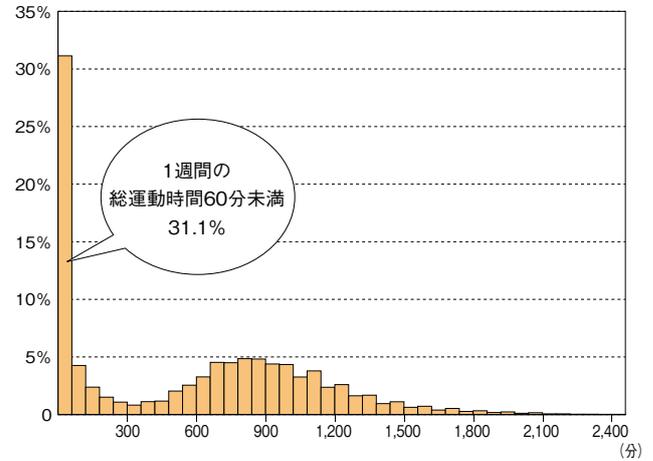
1 | 1週間の総運動時間の分布

1週間の総運動時間の分布は、運動をほとんどしない生徒が多く、特に女子においては顕著であった。

● 男子



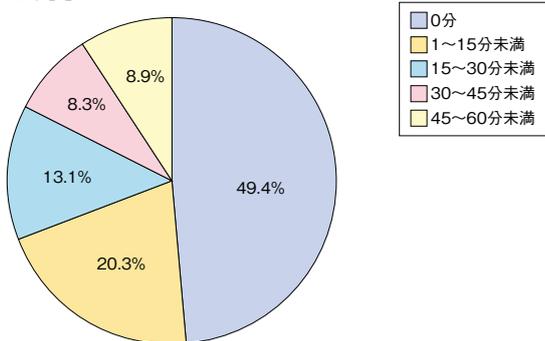
● 女子



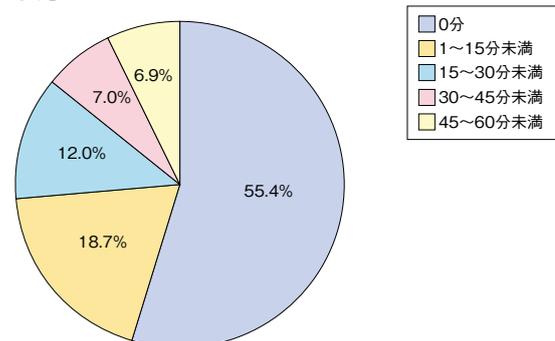
2 | 1週間の総運動時間が60分未満の詳細

1週間の総運動時間が60分未満の生徒のうち、男子の49.4%、女子の55.4%が0分であった。

● 男子



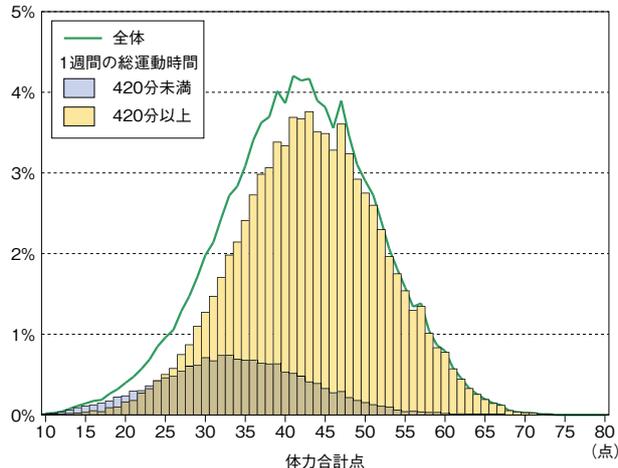
● 女子



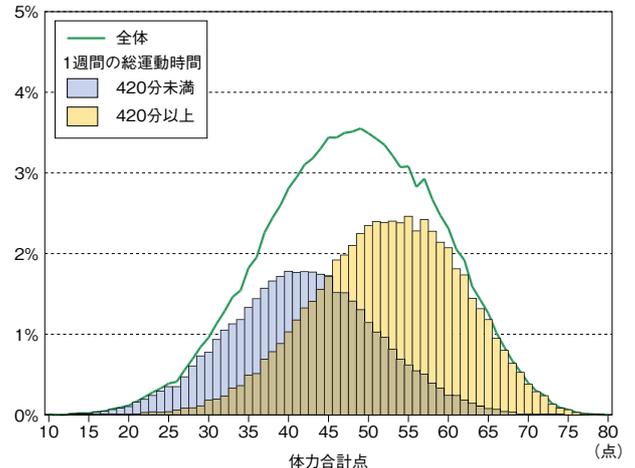
3 | 1週間の総運動時間と体力合計点との関連

男女とも、総運動時間が長い生徒の方が、体力合計点が高い傾向がみられた。

● 男子



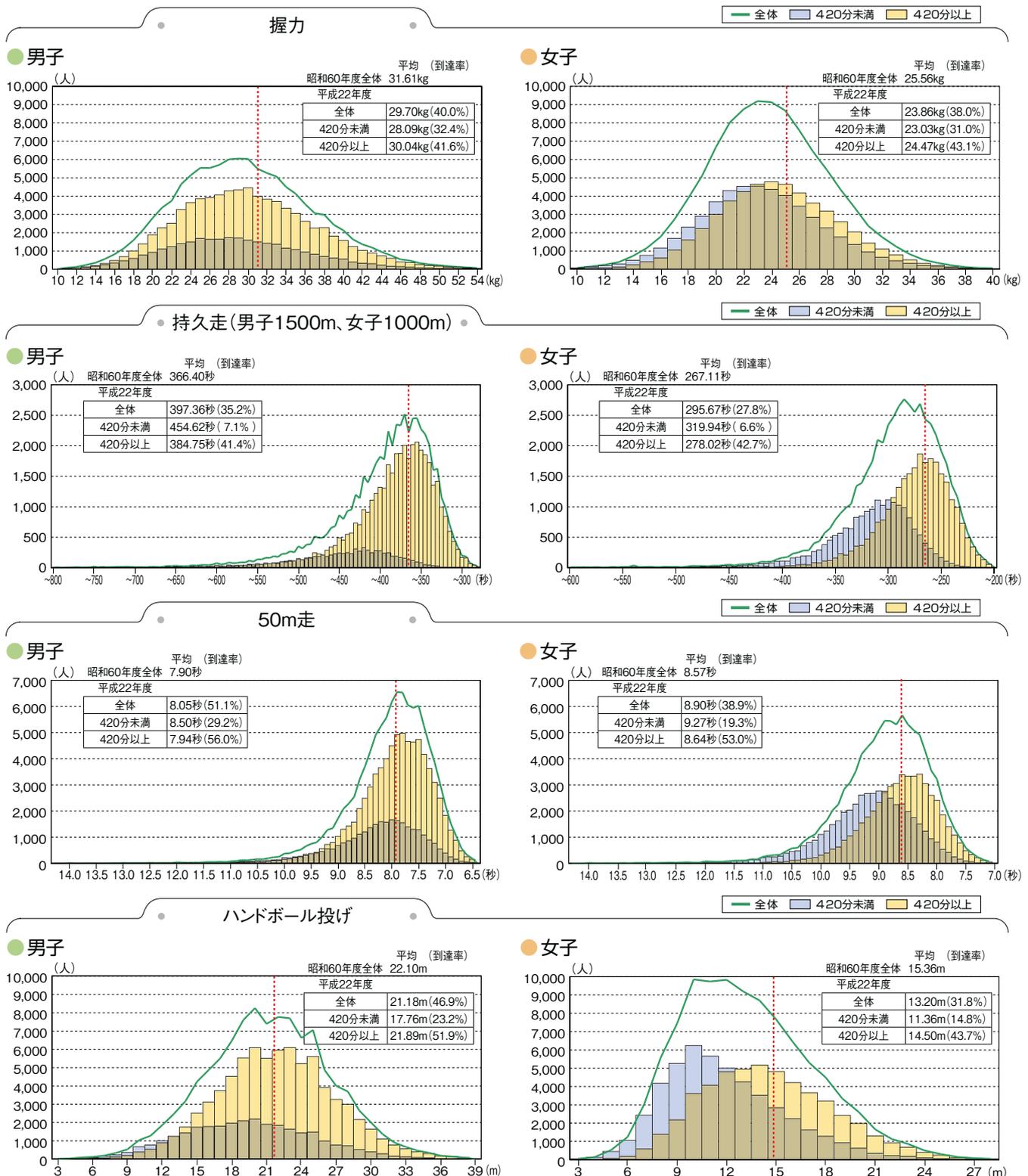
● 女子



1週間の総運動時間からみた昭和60年度水準の到達率

- ① 昭和60年度と比較可能な種目すべてにおいて、男女とも、1週間の総運動時間が420分以上の生徒は、420分未満の生徒に比べて、昭和60年度水準到達率（各種目の昭和60年度平均値に到達した生徒の割合）が高かった。
- ② 持久走は、男女とも、1週間の総運動時間が420分未満の生徒は、昭和60年度水準到達率が約7%であったが、420分以上の生徒は、昭和60年度水準到達率が40%を上回った。
- ③ 男女の50m走、男子のハンドボール投げは、1週間の総運動時間が420分以上の生徒は、昭和60年度水準到達率が50%を超えたが、420分未満の生徒は、いずれも10～20%台であった。

※グラフ中の縦の点線は昭和60年度の平均値、表中の到達率は昭和60年度水準到達率



4. 1週間の総運動時間が60分未満の生徒の特徴

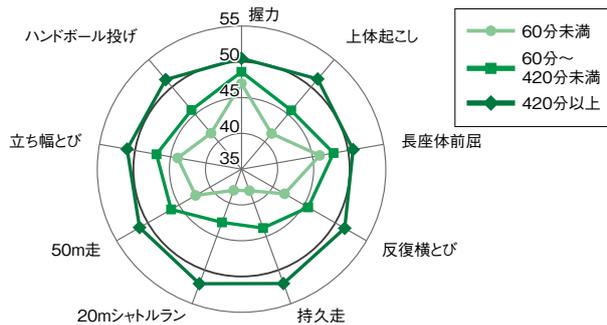
(平成22年度調査)

*生徒のT得点(162ページ参照)や生活習慣・意識等の回答の割合を、1週間の総運動時間「60分未満」「60分以上420分未満」「420分以上」別に示し、それぞれを比較した。

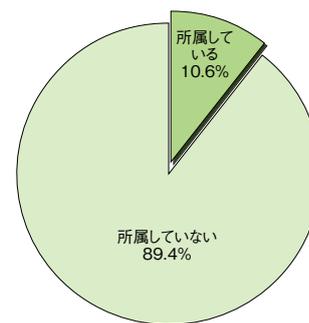
男子の特徴

- ① T得点は、すべての種目で低く、特に握力、長座体前屈以外では大きな差がみられた。
- ② 運動部や地域スポーツクラブの所属率は、10.6%であった。
- ③ 1日の睡眠時間は、「6時間未満」が17.8%であった。
- ④ 1日のテレビ等の視聴時間は、「3時間以上」が38.9%であった。
- ⑤ 家の人と運動やスポーツの話をする回数は、「まったくしない」が46.3%であった。
- ⑥ 「運動やスポーツが好き」が15.6%、「運動やスポーツをもっとしたいと思う」が11.6%であった。

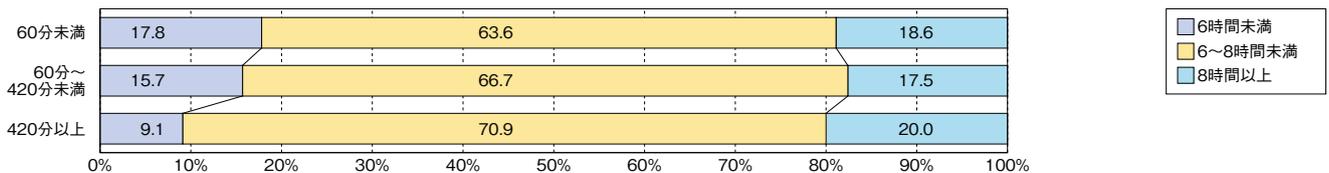
① 種目別T得点比較



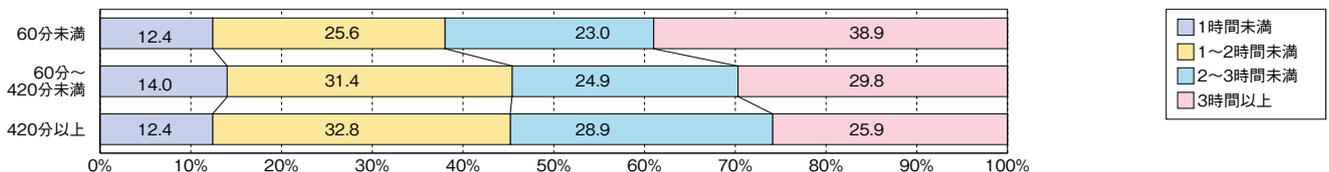
② 運動部や地域スポーツクラブの所属状況 (1週間の総運動時間が60分未満の生徒)



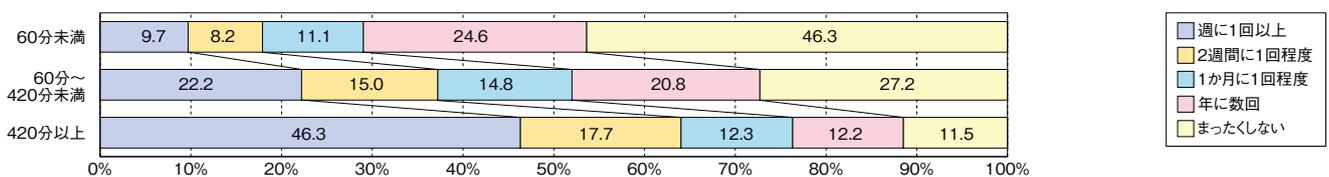
③ 1日の睡眠時間



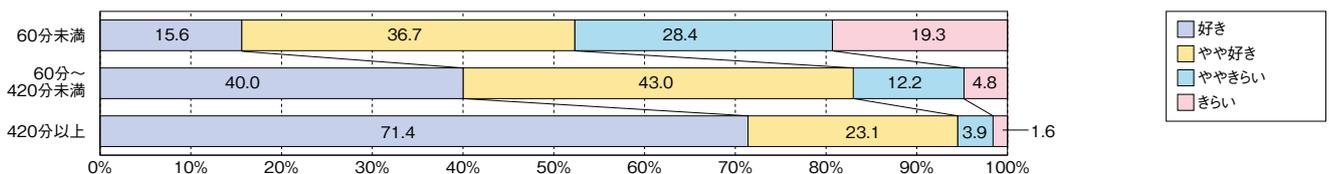
④ 1日のテレビ等の視聴時間



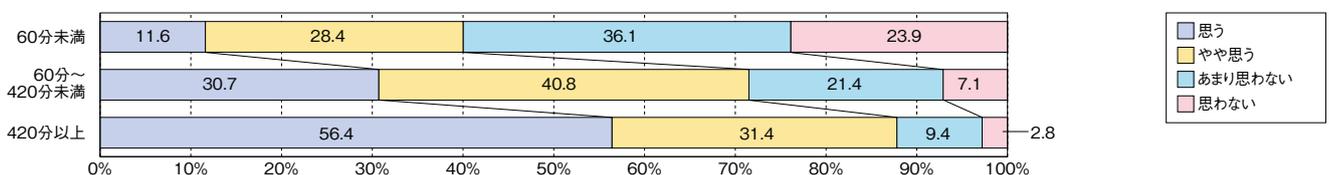
⑤ 家の人と運動やスポーツの話をする



⑥ 運動やスポーツの好き・きらい



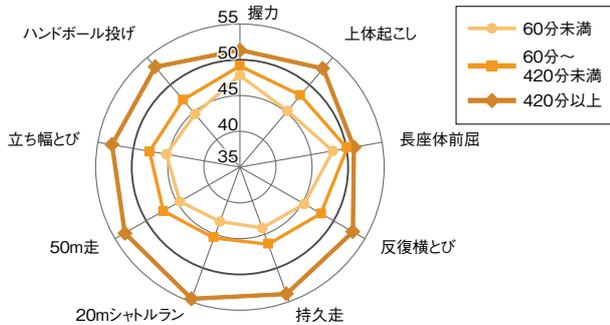
⑦ 運動やスポーツをもっとしたいと思う



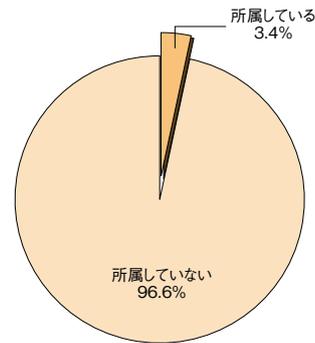
女子の特徴

- ① T得点は、すべての種目で低く、特に握力、長座体前屈以外では大きな差がみられた。
- ② 運動部や地域スポーツクラブの所属率は、3.4%であった。
- ③ 1日のテレビ等の視聴時間は、「3時間以上」が31.6%であった。
- ④ 家の人と運動やスポーツの話をする回数は、「まったくしない」が33.9%であった。
- ⑤ 「運動やスポーツが好き」が16.3%、「運動やスポーツをもっとしたいと思う」が13.2%であった。

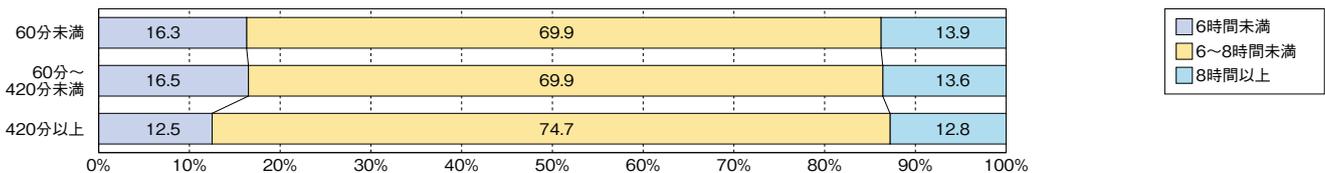
① 種目別T得点比較



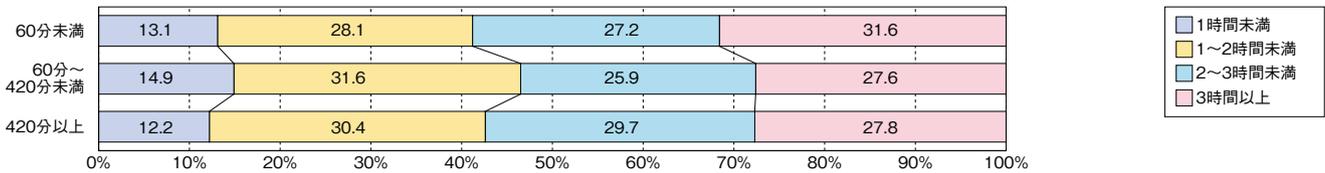
② 運動部や地域スポーツクラブの所属状況 (1週間の総運動時間が60分未満の生徒)



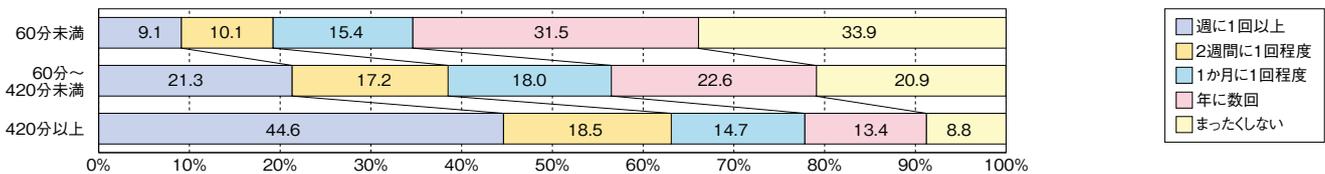
③ 1日の睡眠時間



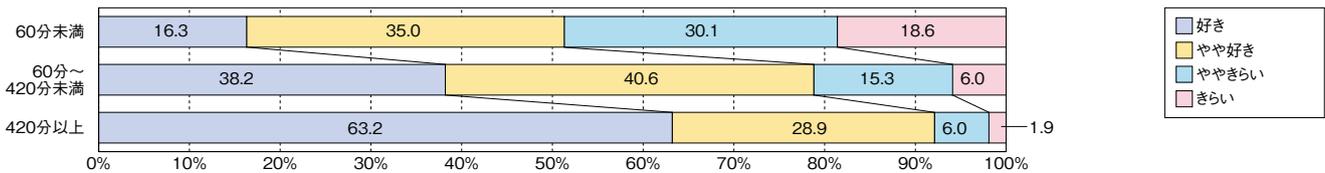
④ 1日のテレビ等の視聴時間



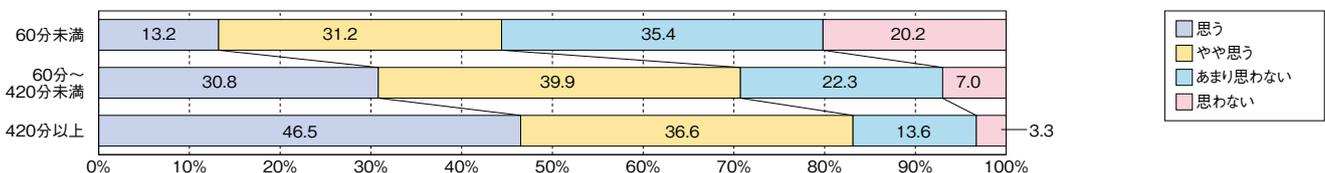
⑤ 家の人と運動やスポーツの話をする



⑥ 運動やスポーツの好き・きらい



⑦ 運動やスポーツをもっとしたいと思う



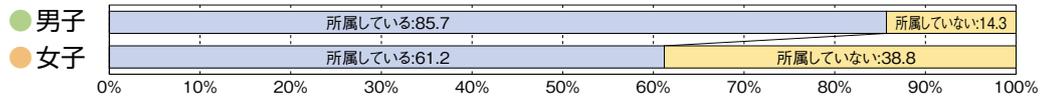
5. 生徒の運動・生活・食習慣と体力との関連

(平成22年度調査、4のみ平成20年度調査)

1 運動習慣の状況

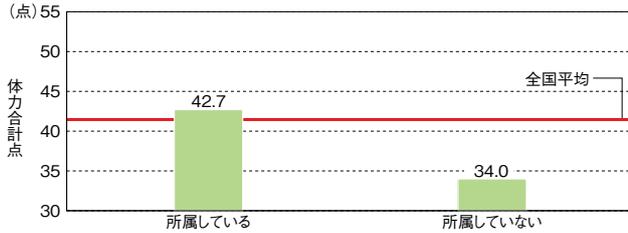
① 運動部や地域スポーツクラブへの所属状況

男女とも、運動部や地域スポーツクラブに「所属している」集団は、「所属していない」集団に比べて、体力合計点が高かった。

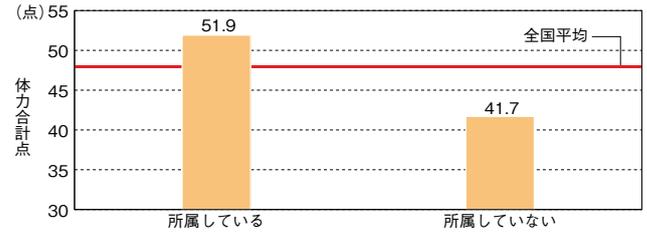


運動部や地域スポーツクラブへの所属と体力合計点との関連

男子

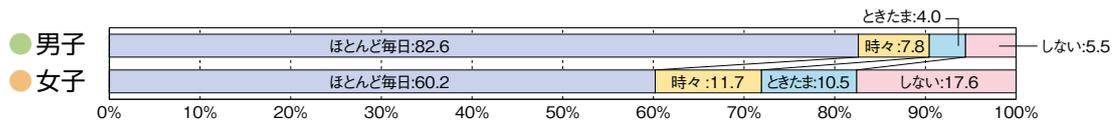


女子



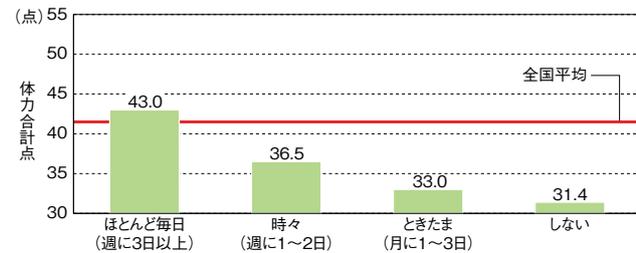
② 運動やスポーツの実施頻度

男女とも、運動やスポーツの実施頻度が高いほど、体力合計点が高かった。

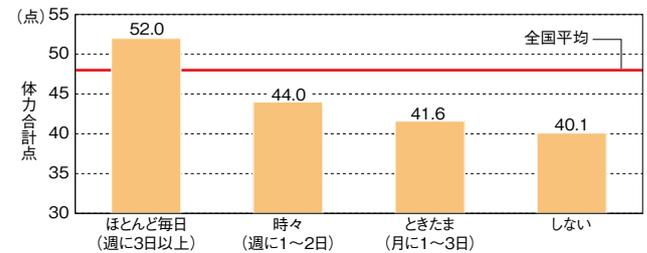


運動やスポーツの実施頻度と体力合計点との関連

男子

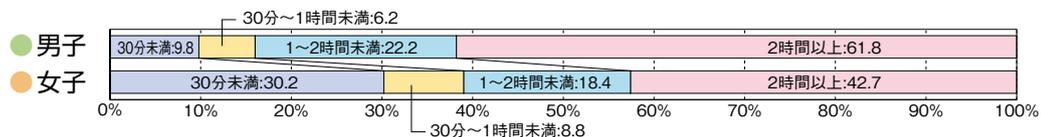


女子



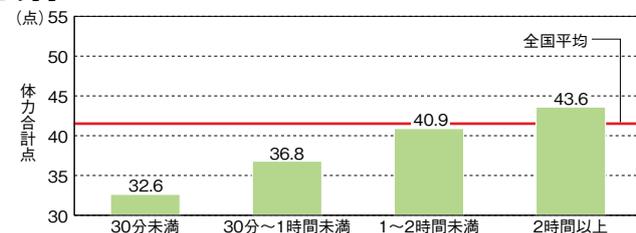
③ 運動やスポーツの1日の実施時間

男女とも、運動やスポーツをするときの1日の実施時間が長いほど、体力合計点が高かった。

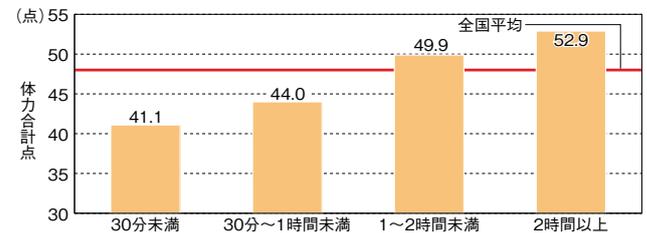


1日の運動・スポーツの実施時間と体力合計点との関連

男子

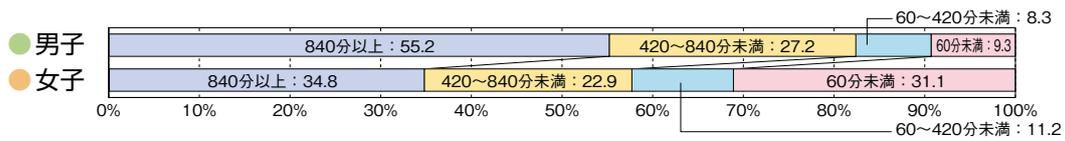


女子



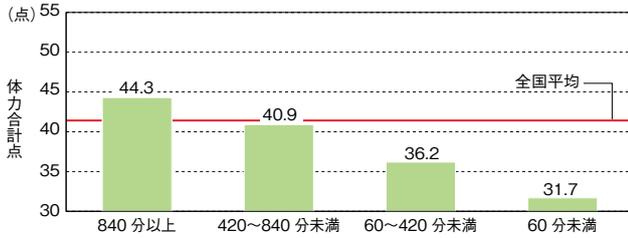
④ 1週間の総運動時間

1週間の総運動時間が長いほど、体力合計点が高かった。

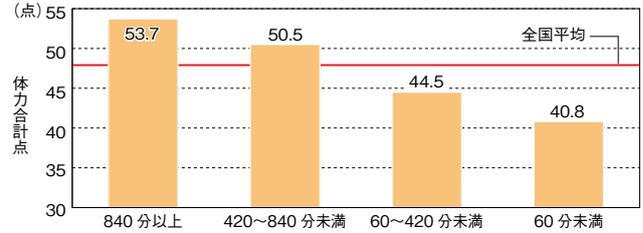


1週間の総運動時間と体力合計点との関連

● 男子



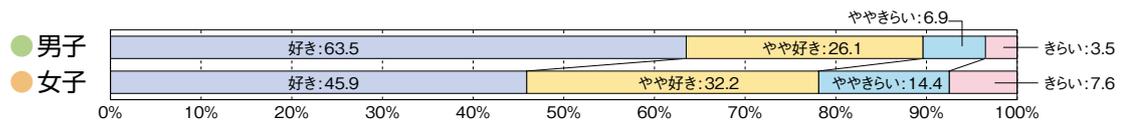
● 女子



2 | 運動やスポーツに関する意識

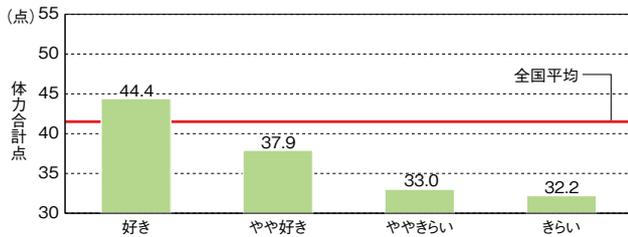
① 運動やスポーツの好き・嫌い

男女とも、運動やスポーツをすることが「好き」の集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高かった。

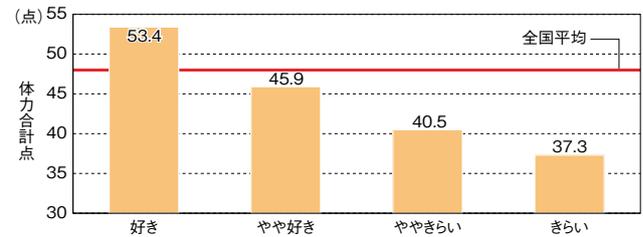


「運動やスポーツをすることは好きですか」についての回答と体力合計点との関連

● 男子

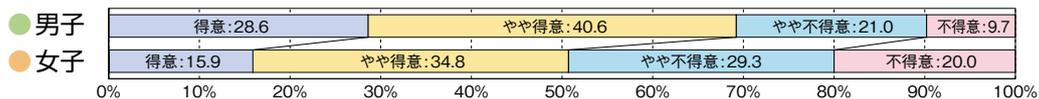


● 女子



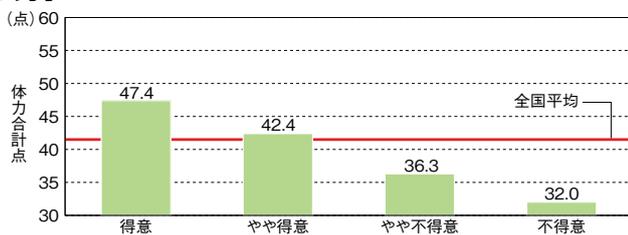
② 運動やスポーツの得意・不得意

男女とも、運動やスポーツをすることが「得意」の集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高かった。

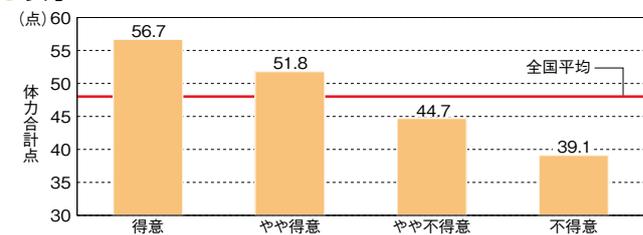


「運動やスポーツをすることは得意ですか」についての回答と体力合計点との関連

● 男子



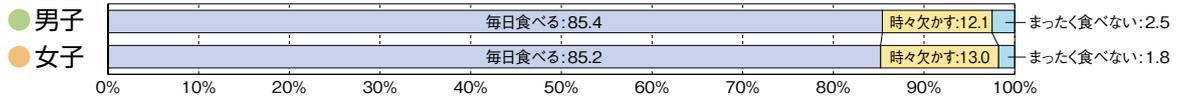
● 女子



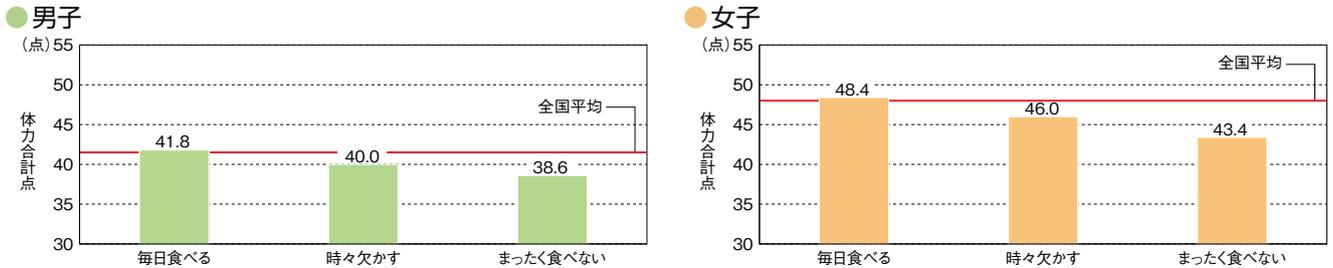
3 | 生活習慣の状況

① 朝食の摂取状況

男女とも、朝食を「毎日食べる」集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高かった。

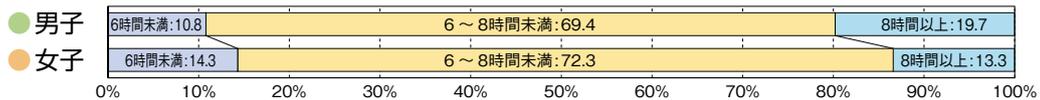


朝食の摂取状況と体力合計点との関連

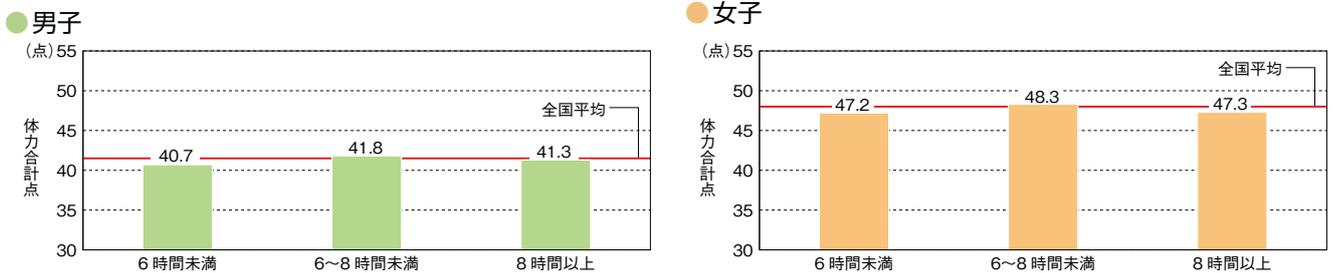


② 睡眠時間

男女とも、1日の睡眠時間が「6時間以上8時間未満」の集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高かった。

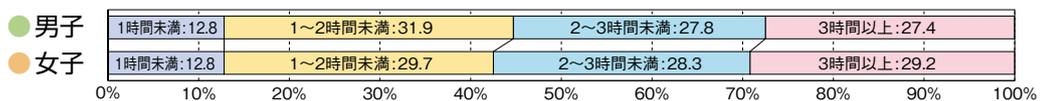


1日の睡眠時間と体力合計点との関連

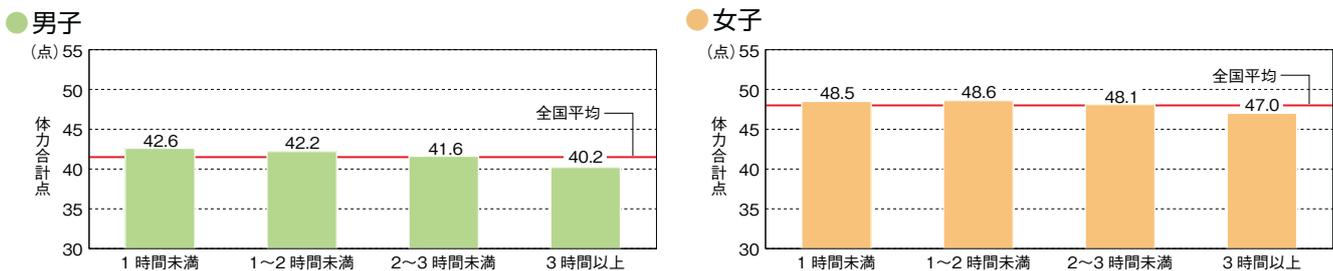


③ テレビ等の視聴時間

男女とも、1日のテレビ（テレビゲームを含む）の視聴時間が「3時間以上」の集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が低かった。



1日のテレビ等の視聴時間と体力合計点との関連



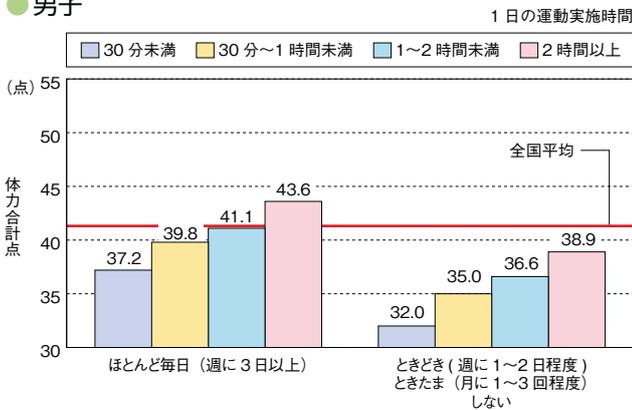
4 | 運動習慣・生活習慣と体力の関連（平成20年度）

① 運動習慣と体力の関連

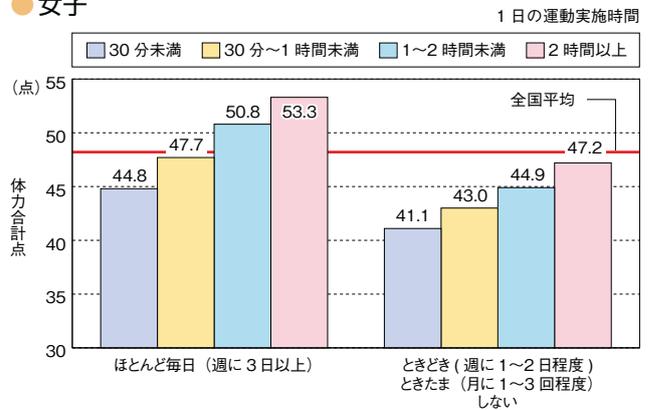
男女とも、「運動・スポーツをほとんど毎日（週3日以上）する」集団と、それ以外の集団では体力合計点に差がみられた。とりわけ、1日の運動時間が2時間以上の集団は体力合計点が高い傾向がみられた。

運動やスポーツの実施頻度・実施時間の体力合計点との関連

● 男子



● 女子

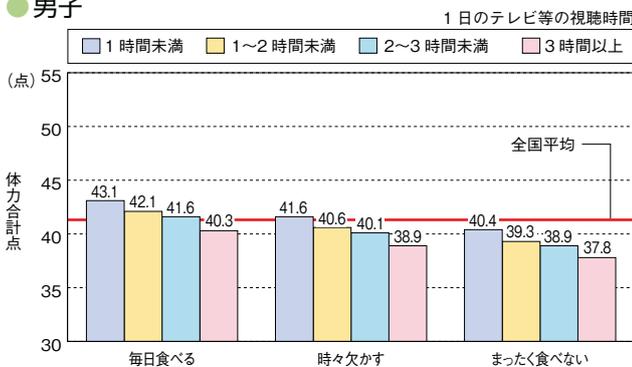


② 生活習慣と体力の関連

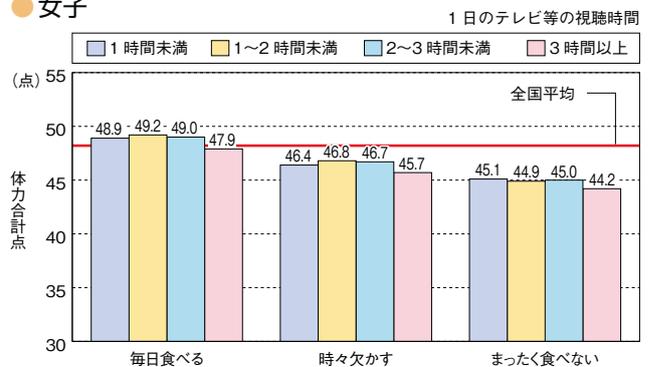
男女とも、朝食を「毎日食べる」集団は、それ以外の集団より体力合計点が高い傾向がみられた。また男子では、テレビ等の視聴時間が長くなると体力合計点が低くなる傾向がみられるが、女子ではテレビ等の視聴時間と体力合計点との相関はあまりみられなかった。

朝食の摂取状況・1日のテレビ等の視聴時間の体力合計点との関連

● 男子



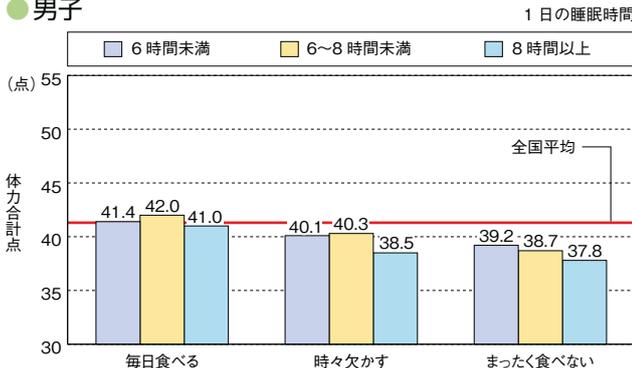
● 女子



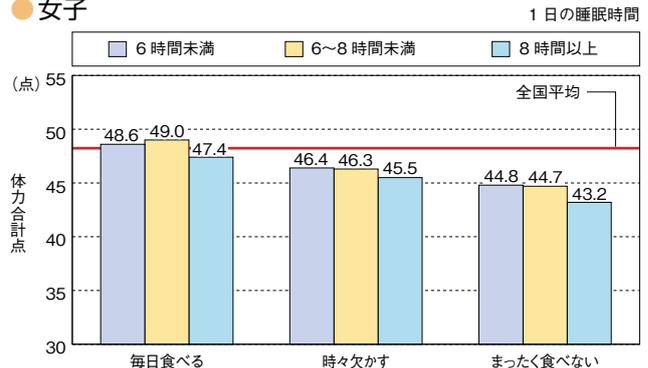
男女とも、朝食を「まったく食べない」集団は、1日の睡眠時間にかかわらず、体力合計点が低かった。

朝食の摂取状況・睡眠時間の体力合計点との関連

● 男子



● 女子

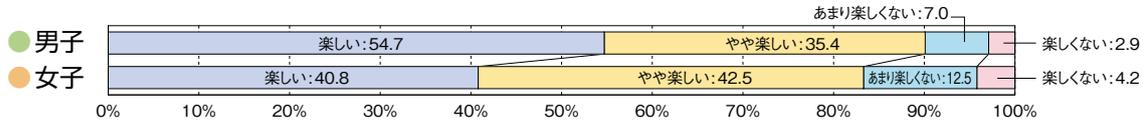


1 | 体育の授業に関する意識

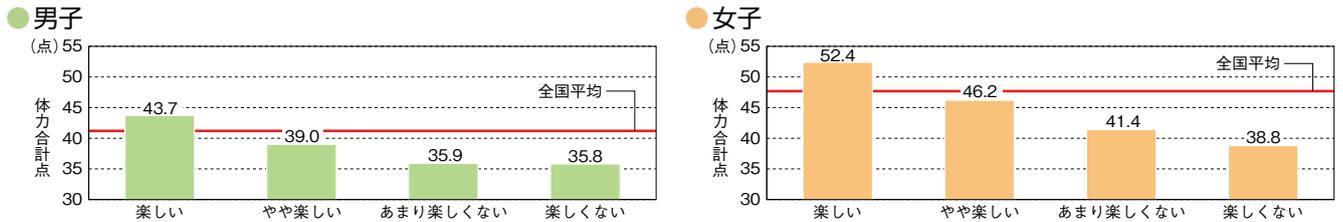
① 楽しさに関する意識

● 体育の授業は楽しいですか

男女とも、体育の授業が「楽しい」集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向がみられた。



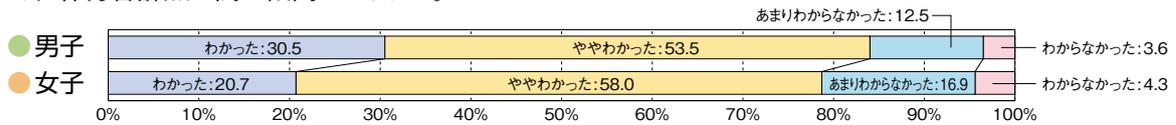
「体育の授業は楽しいですか」についての回答と体力合計点との関連



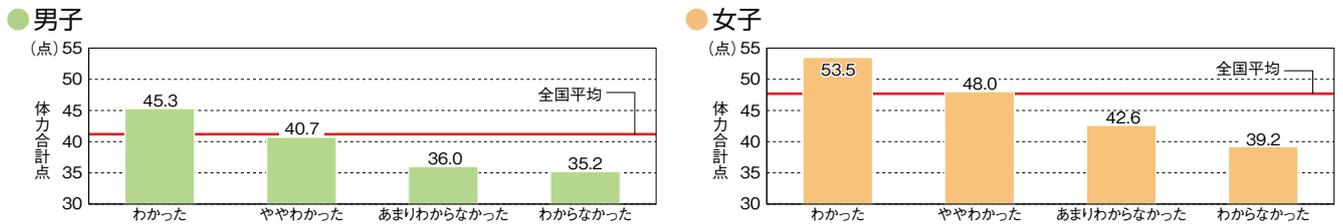
② 体の動かし方やコツに関する理解

● 体育の授業では、体の動かし方や、うまくなるためのコツがわかりましたか

男女とも、体育の授業で体の動かし方やうまくなるためのコツが「わかった」集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向がみられた。



「体育の授業では、体の動かし方や、うまくなるためのコツがわかりましたか」についての回答と体力合計点との関連



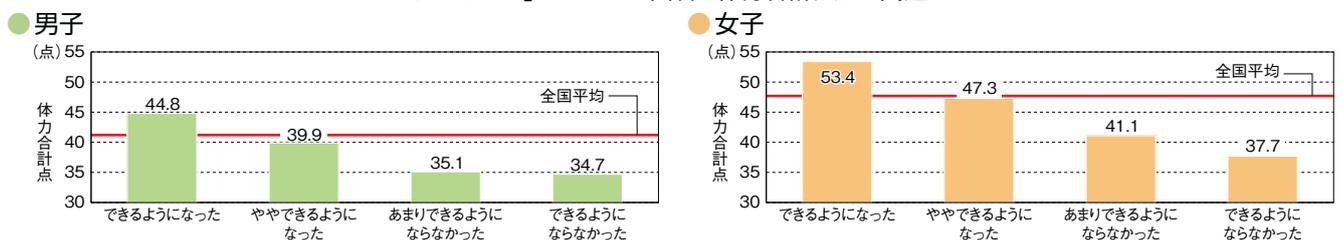
③ 運動やスポーツの上達に関する意識

● 体育の授業では、運動やスポーツが今までよりもうまくできるようになりましたか

男女とも、体育の授業で運動やスポーツが今までよりもうまく「できるようになった」集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向がみられた。



「体育の授業では、運動やスポーツが今までよりもうまくできるようになりましたか」についての回答と体力合計点との関連

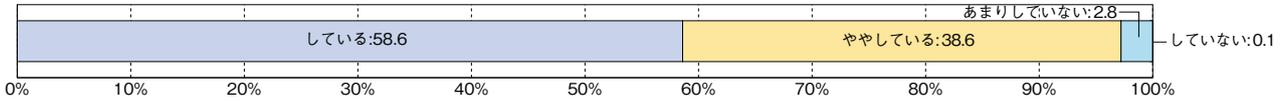


2 | 保健体育の授業に関する取組

① 運動ができるようになるための指導の重視

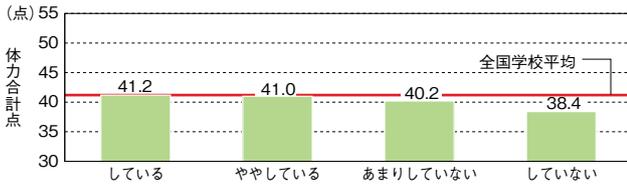
- 保健体育の授業では、体の動かし方や運動の仕方を理解させながら、運動ができるようになるための指導を重視していますか

保健体育の授業で、体の動かし方や運動の仕方を理解させながら、運動ができるようになるための指導を重視「している」+「ややしている」学校は、97.2%であった。

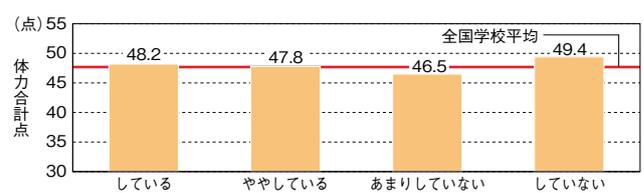


「保健体育の授業では、体の動かし方や運動の仕方を理解させながら、運動ができるようになるための指導を重視していますか」についての回答と学校の体力合計点との関連

● 男子



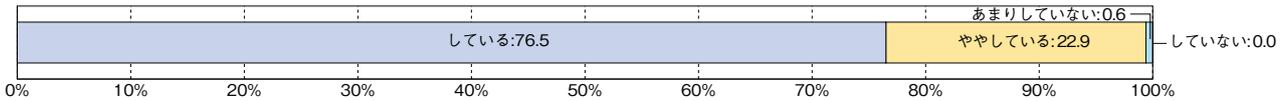
● 女子



② 運動量の確保の工夫

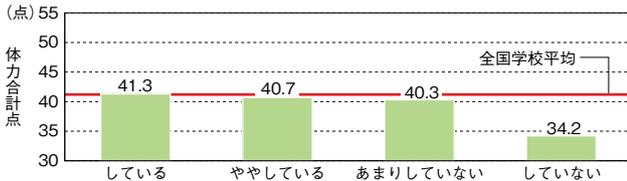
- 保健体育の授業では、生徒の適切な運動量が確保できるように指導を工夫していますか

保健体育の授業で、生徒の適切な運動量が確保できるように指導を工夫「している」+「ややしている」学校は、99.4%であった。

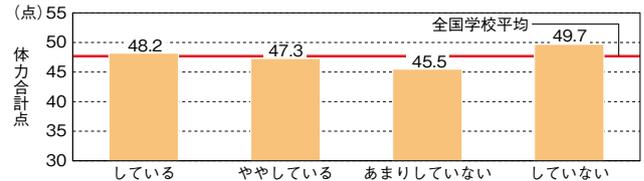


「保健体育の授業では、生徒の適切な運動量が確保できるように指導を工夫していますか」についての回答と学校の体力合計点との関連

● 男子



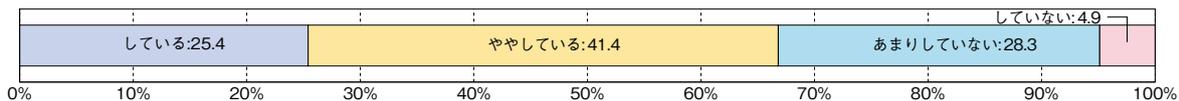
● 女子



③ 運動の習慣化への取組

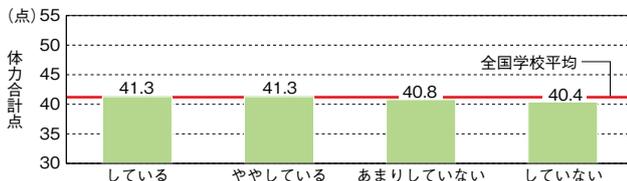
- 保健体育の授業では、運動しない生徒に運動を習慣化させるための取組をしていますか

保健体育の授業で、運動しない生徒に運動を習慣化させるための取組を「している」+「ややしている」学校は、66.8%であった。

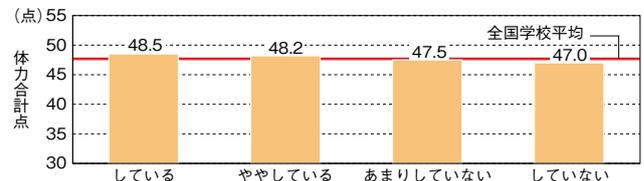


「保健体育の授業では、運動しない生徒に運動を習慣化させるための取組をしていますか」についての回答と学校の体力合計点との関連

● 男子



● 女子

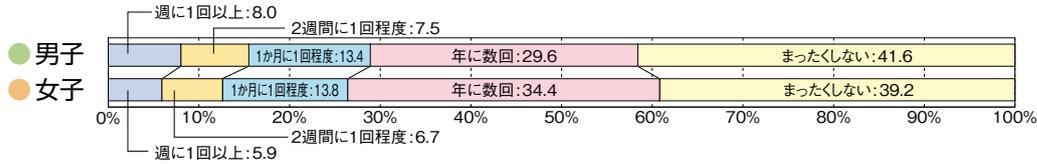


7. 家庭における運動やスポーツとの関わり

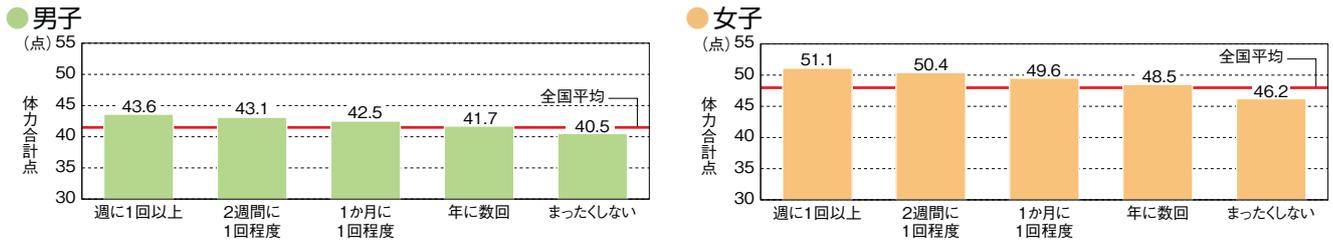
(平成22年度調査)

① 家の人と運動やスポーツをする

男女とも、家の人と一緒に、運動やスポーツをする集団は、「まったくしない」集団に比べて、体力合計点が高かった。

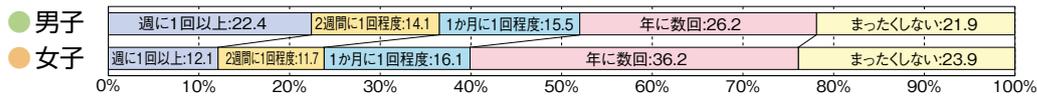


家の人と一緒に、運動やスポーツをする頻度と体力合計点との関連

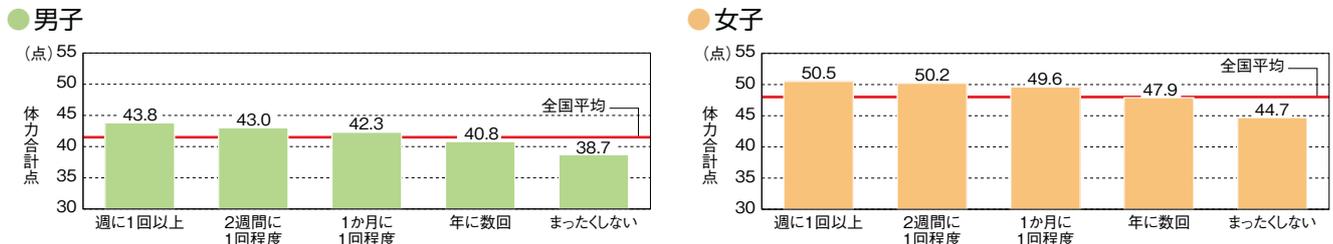


② 家の人と運動やスポーツを観る

男女とも、家の人と一緒に、スポーツの観戦をする集団は、「まったくしない」集団に比べて、体力合計点が高かった。

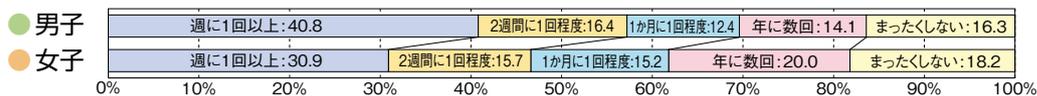


家の人と一緒に、スポーツを観戦する頻度と体力合計点との関連

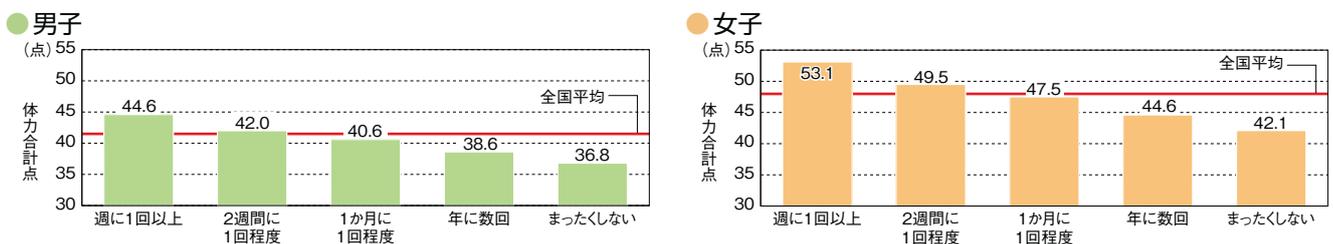


③ 家の人と運動やスポーツの話をする

男女とも、家の人と一緒に、運動やスポーツについて話をする集団は、「まったくしない」集団に比べて、体力合計点が高かった。



家の人と一緒に、運動やスポーツの話をする頻度と体力合計点との関連



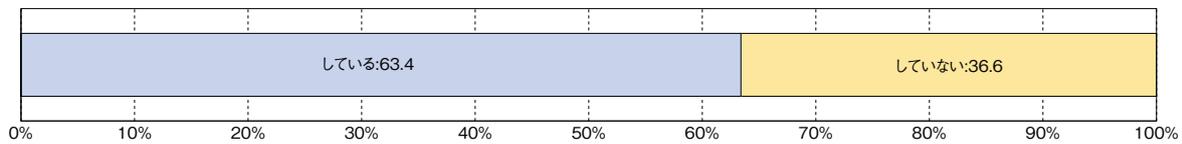
8. 学校の地域・家庭との連携

(平成22年度調査)

① 学校の活動への地域人材の活用

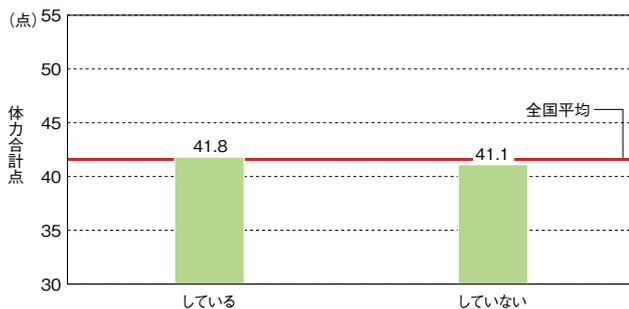
- 学校の運動やスポーツに関する活動に、地域の人材を活用していますか

学校の運動やスポーツに関する活動に、地域の人材の活用を「している」学校は、63.4%であった。

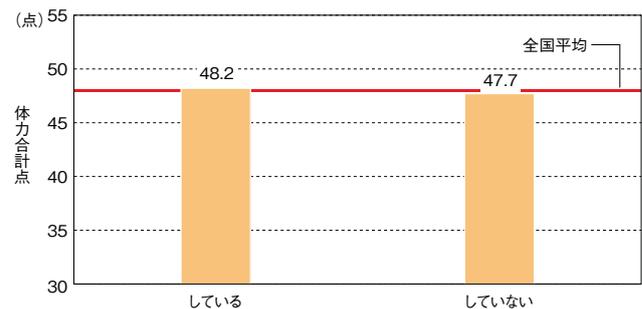


地域人材の活用と体力合計点との関連

● 男子



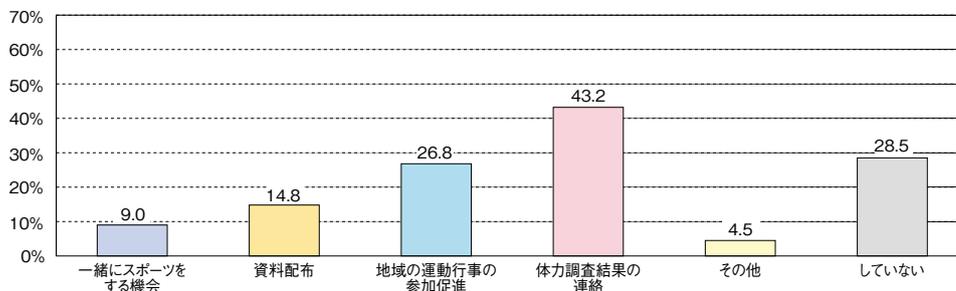
● 女子



② 家庭との連携

- 運動やスポーツ、子どもの体力について、家庭とどのような連携をしていますか（複数回答可）

「体力に関する調査の結果を家庭に連絡している」が43.2%で最も高く、次いで「地域の運動行事の参加促進」が26.8%であった。また、「していない」が28.5%であった。

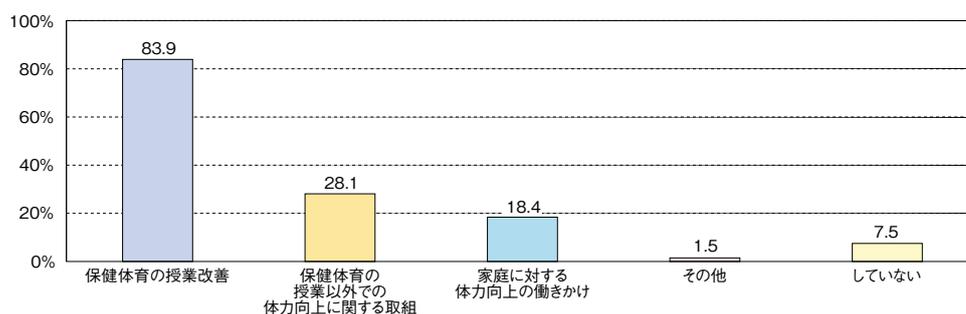


③ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた取組

- 学校において、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえ、どのような取組をしましたか（取り組む予定ですか）（複数回答可）

① 「保健体育の授業改善に取り組んだ（取り組む予定である）」が83.9%で最も高く、次いで「保健体育の授業以外で、生徒の体力向上に関する取組を行った（行う予定である）」が28.1%であった。

② 調査の結果を踏まえた取組（取り組む予定を含む）を「していない」学校は、7.5%であった。



9. 平成20～22年度の3年間追跡調査

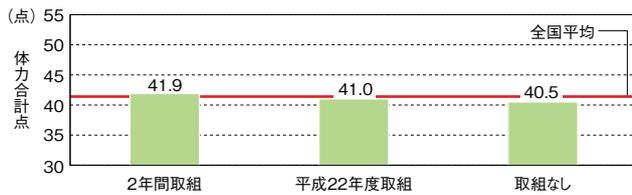
1 前年度の結果を踏まえた学校の取組の継続状況と、体力・地域・家庭連携との関連

■ 平成21、22年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえ、どのような取組をしましたか（取り組む予定ですか）」に対する回答をもとに、学校を以下の3群に分類した。（1,666校）
 「2年間取組」群……平成21、22年度ともに、取組をした（取り組む予定である）と回答した学校
 「平成22年度取組」群……平成22年度だけに、取組をした（取り組む予定である）と回答した学校
 「取組なし」群……平成21、22年度ともに、取組をしていない（行う予定はない）と回答した学校

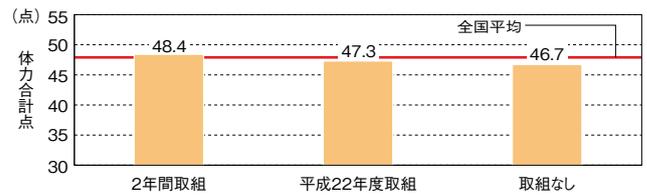
「2年間取組」群は、男女とも体力合計点が最も高く、「生徒の運動やスポーツに関して、地域の関係団体などと話し合う機会がある」「運動やスポーツ、子どもの体力について家庭と連携している」割合が、いずれも最も高かった。

① 体力合計点

● 男子

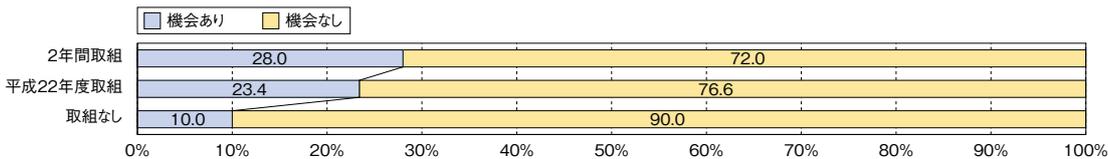


● 女子



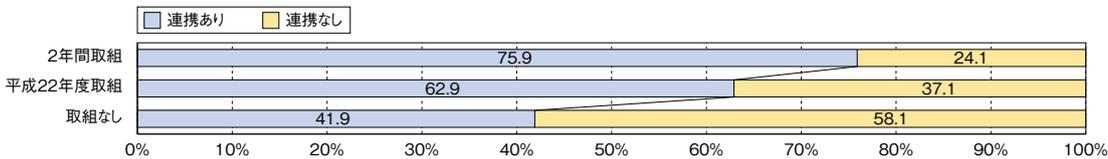
② 地域と話し合う機会の有無

● 生徒の運動やスポーツに関して、地域の関係団体などと話し合う機会がありますか



③ 家庭との連携の有無

● 運動やスポーツ、子どもの体力について、家庭とどのような連携をしていますか



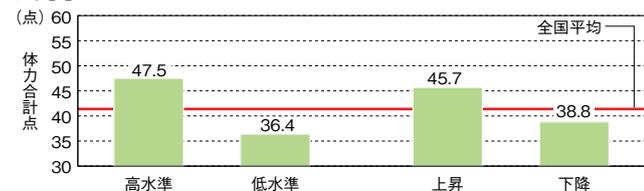
2 体力の維持・向上のための学校の取組

■ 平成20～22年度の3年間を通して回答を得た、男子1,479校、女子1,464校を分析対象とした。
 ■ 各年度の体力合計点をもとに、男女別に以下の4群を抽出した。
 「高水準」群……3年間の体力合計点が平均して高かった100校
 「低水準」群……3年間の体力合計点が平均して低かった100校
 「上昇」群……3年間の体力合計点の上昇が大きかった100校
 「下降」群……3年間の体力合計点の下降が大きかった100校

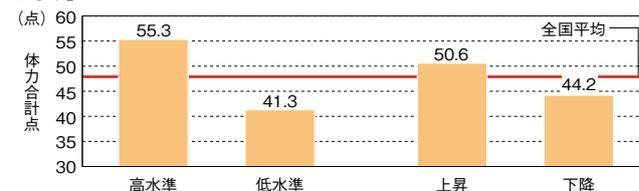
- ① 「高水準」群は「低水準」群よりも、体力合計点が男子で11.1点、女子で14.0点高く、1週間の総運動時間が男女ともに長かった。また、「高水準」群は「低水準」群よりも、男女とも、「生徒の運動習慣を確立するための授業以外の手だて」「地域が実施する運動やスポーツに関する活動の運営への学校の関わり」「運動やスポーツ、子どもの体力についての家庭との連携」の「取組をしている」割合がいずれも高かった。さらに、「高水準」群の運動部活動参加率は、「低水準」群よりも男子で13.5ポイント、女子で22.7ポイント高かった。
- ② 「上昇」群は「下降」群よりも、体力合計点が男女ともに6点以上高く、1週間の総運動時間が男女ともに長かった。また、「上昇」群は「下降」群よりも、男女の「生徒の運動習慣を確立するための授業以外の手だて」「地域が実施する運動やスポーツに関する活動の運営への学校の関わり」、男子の「運動やスポーツ、子どもの体力についての家庭との連携」の「取組をしている」割合がいずれも高かった。さらに、「上昇」群の運動部活動参加率は、「下降」群よりも、男子で6.4ポイント、女子で3.9ポイント高かった。

① 体力合計点

● 男子

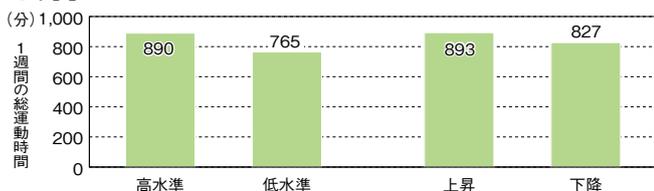


● 女子

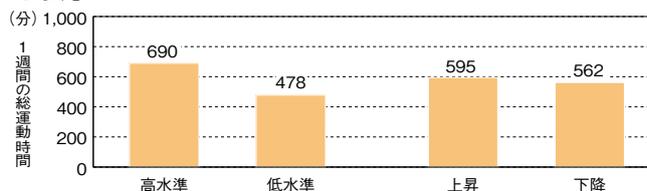


② 1週間の総運動時間

● 男子

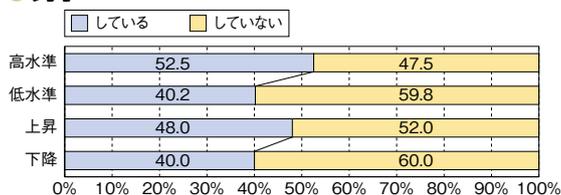


● 女子

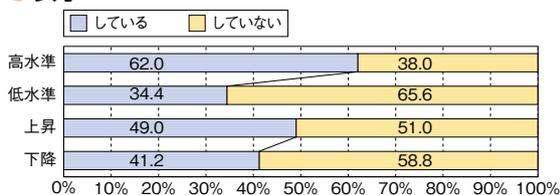


③ 生徒の運動習慣を確立するための授業以外の手だて

● 男子

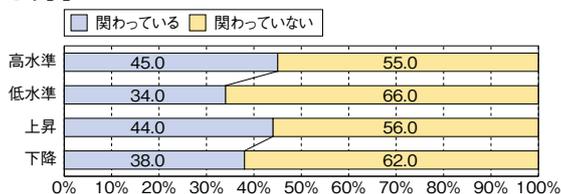


● 女子

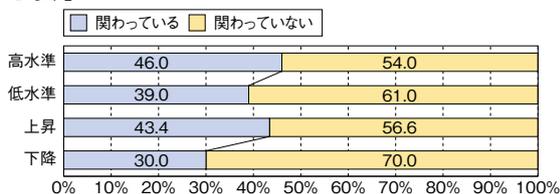


④ 地域が実施する運動やスポーツに関する活動の運営への学校の関わり

● 男子

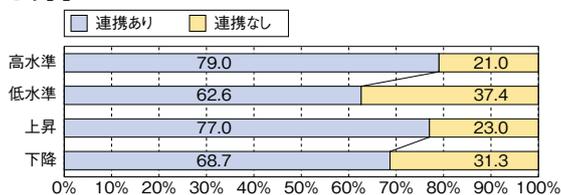


● 女子

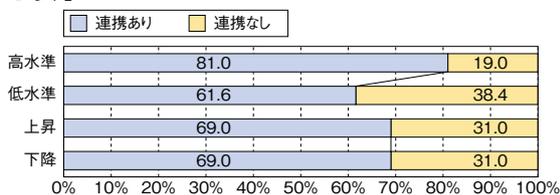


⑤ 運動やスポーツ、子どもの体力についての家庭との連携

● 男子

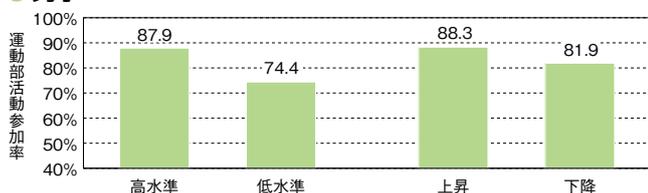


● 女子

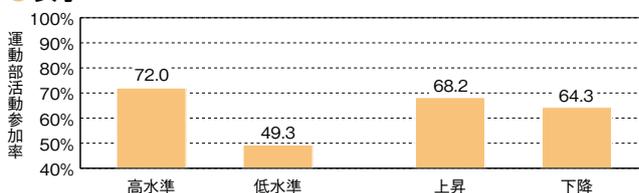


⑥ 運動部活動参加率(全学年)

● 男子



● 女子



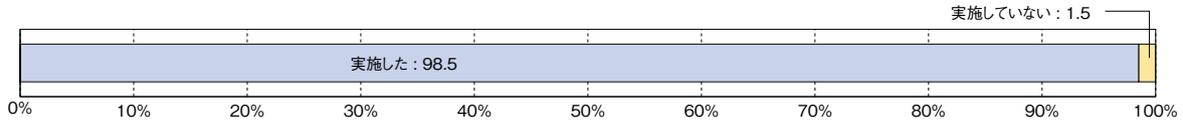
1. 都道府県・政令指定都市教育委員会の調査結果

標本数：都道府県47 政令指定都市19

① 体力向上に関する施策の実施

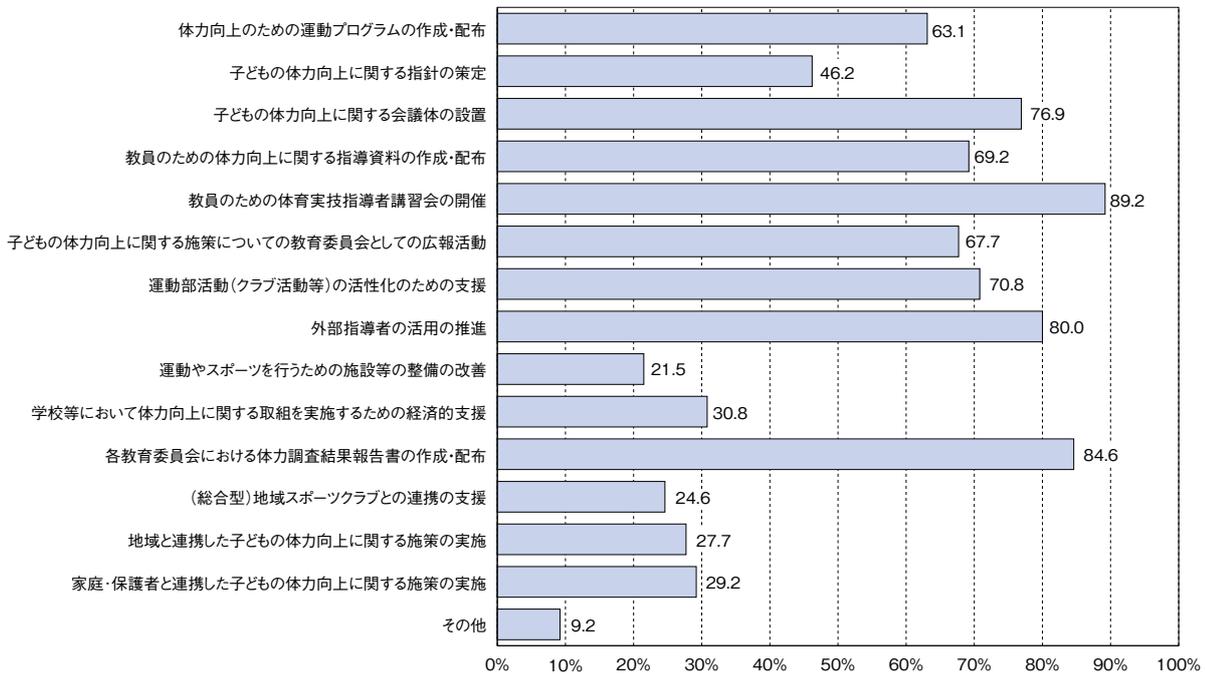
【質問1】 平成21年度から平成23年度において、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を受けて、貴教育委員会では子どもの体力向上に関する施策を実施しましたか

■ 体力向上に関する施策を「実施した」都道府県・政令指定都市は98.5%であった。



【質問1-2】 質問1で「実施した」を選択した場合は、実施した内容を選んでください（複数回答可）

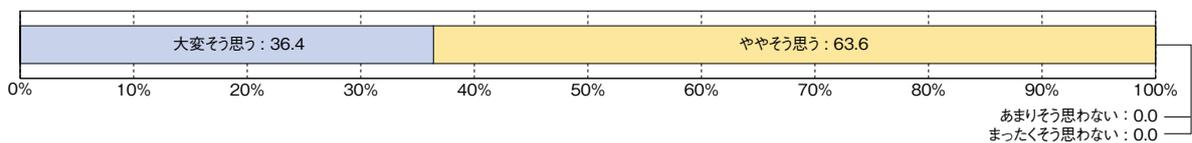
■ 「教員のための体育実技指導者講習会の開催」を実施した都道府県・政令指定都市は89.2%であった。



② 体力向上に関する意識

【質問2】 平成20年度と比較して、貴教育委員会において子どもの体力向上に関する意識は向上したと思いますか

■ 体力向上に関する意識が向上したと「大変そう思う」+「ややそう思う」都道府県・政令指定都市は100.0%であった。



③ 体力向上に関する取組の改善

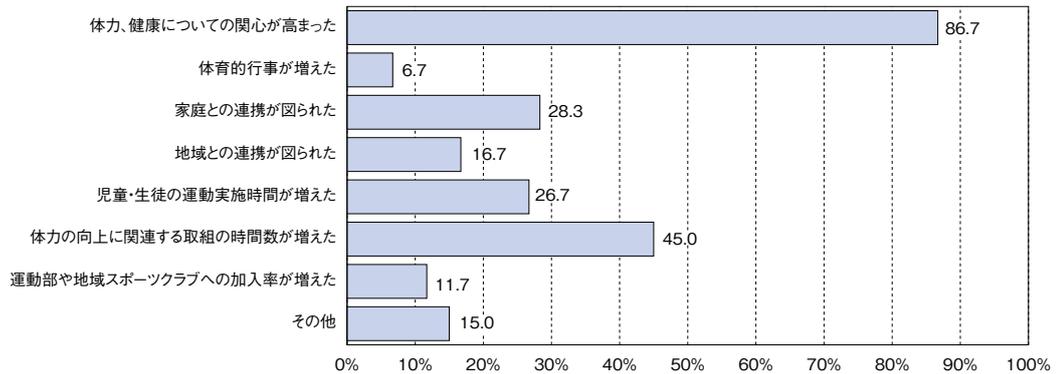
【質問3】 平成20年度と比較して、域内の学校において子どもの体力向上に関する取組に改善の変化が見られたと思いますか

■ 体力向上に関する取組に改善の変化が見られたと「大変そう思う」+「ややそう思う」都道府県・政令指定都市は92.3%であった。



[質問3-2] 質問3で「大変そう思う」または「ややそう思う」と回答した場合に質問します。学校の取組にどのような点に改善が見られましたか（複数回答可）

■ 学校の取組の改善で、「体力、健康についての関心が高まった」都道府県・政令指定都市は86.7%であった。



④ 体力向上に関する予算

[質問4] 平成20年度と比較して、子どもの体力向上に関する予算額は変化しましたか

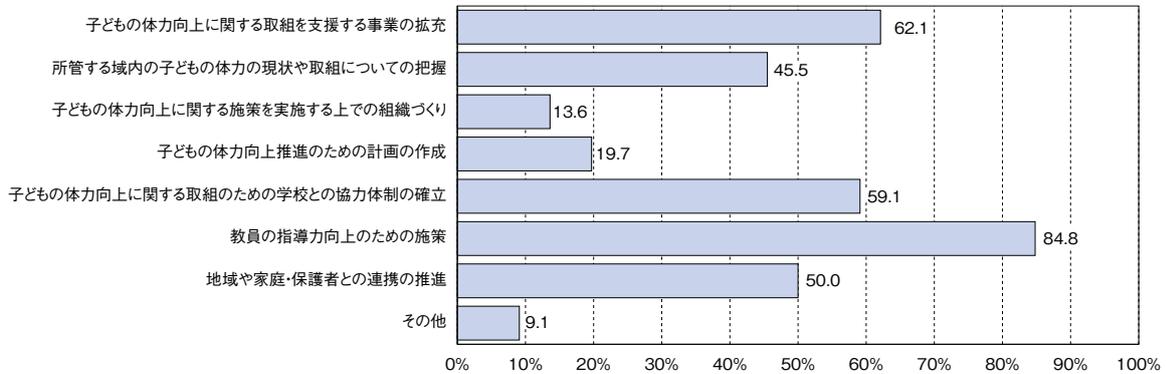
■ 子どもの体力向上に関する予算額が「増えた」都道府県・政令指定都市は34.8%であった。



⑤ 今後の取組について

[質問5] 子どもの体力向上に関する施策を実施する上で、今後特に力を入れて取り組みたい内容は何ですか（複数回答可）

■ 今後特に力を入れて取り組みたい内容は、「教員の指導力向上のための施策」が84.8%であった。



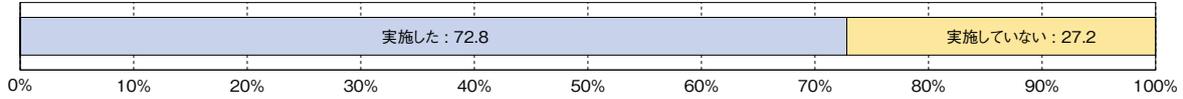
2. 市区町村教育委員会の調査結果

標本数：市区町村（政令指定都市除く）1396

① 体力向上に関する施策の実施

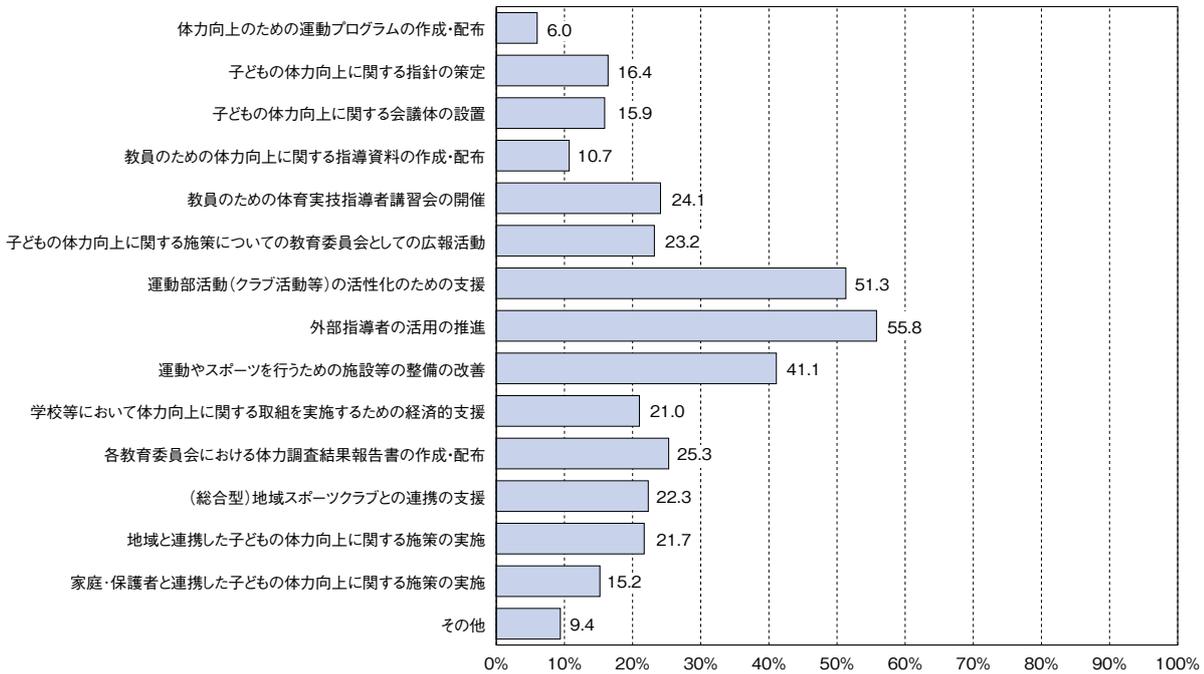
【質問1】 平成21年度から平成23年度において、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を受けて、貴教育委員会では子どもの体力向上に関する施策を実施しましたか

■ 体力向上に関する施策を「実施した」市区町村は72.8%であった。



【質問1-2】 質問1で「実施した」を選択した場合は、実施した内容を選んでください（複数回答可）

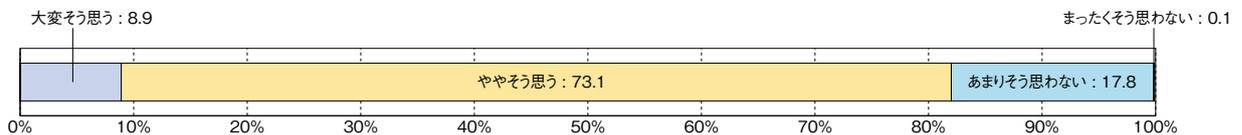
■ 「外部指導者（地域のスポーツ指導者）の活用の推進」を実施した市区町村は55.8%であった。



② 体力向上に関する意識

【質問2】 平成20年度と比較して、貴教育委員会において子どもの体力向上に関する意識は向上したと思いますか

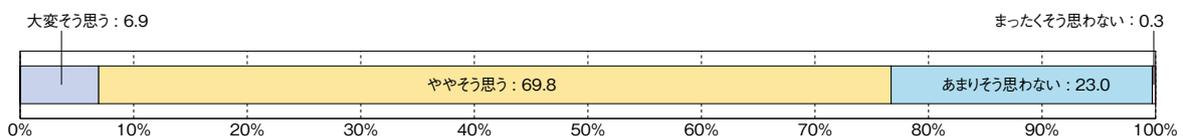
■ 体力向上に関する意識が向上したと「大変そう思う」 + 「ややそう思う」市区町村は82.0%であった。



③ 体力向上に関する取組の改善

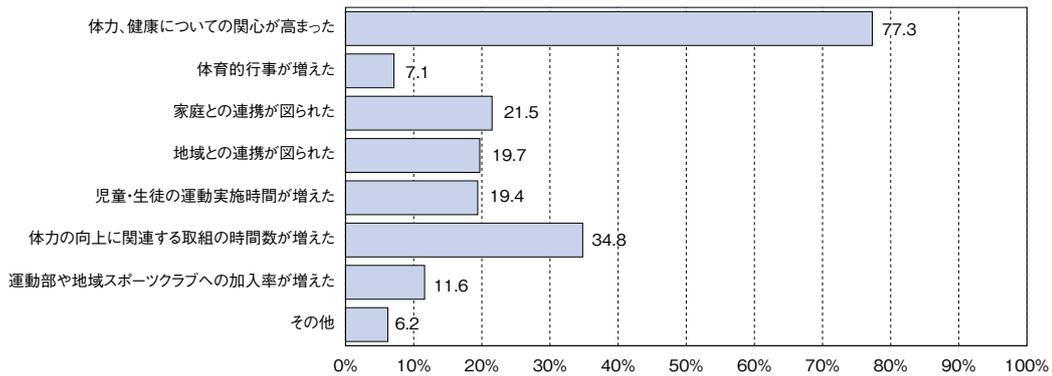
【質問3】 平成20年度と比較して、域内の学校において子どもの体力向上に関する取組に改善の変化が見られたと思いますか

■ 体力向上に関する取組に改善の変化が見られたと「大変そう思う」 + 「ややそう思う」市区町村は76.7%であった。



[質問3-2] 質問3で「大変そう思う」または「ややそう思う」と回答した場合に質問します。学校の取組にどのような点に改善が見られましたか（複数回答可）

■ 学校の取組の改善で、「体力、健康についての関心が高まった」市区町村は77.3%であった。



④ 体力向上に関する予算

[質問4] 平成20年度と比較して、子どもの体力向上に関する予算額は変化しましたか

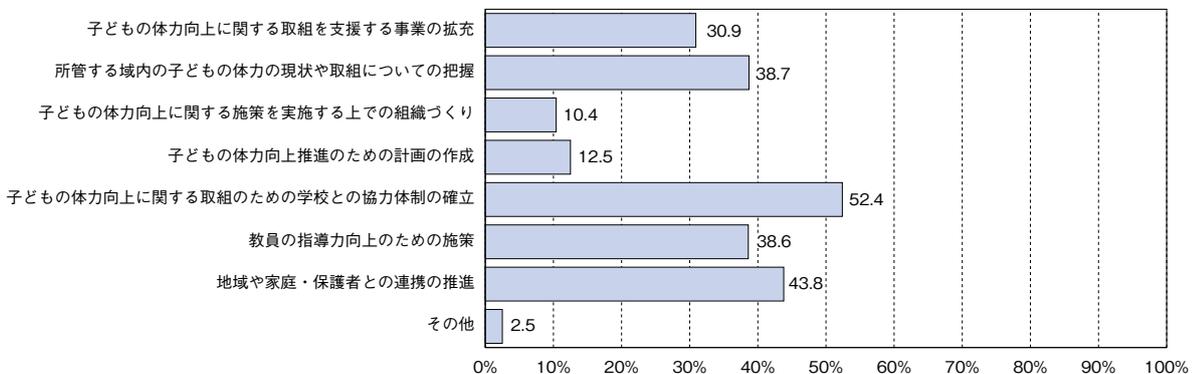
■ 子どもの体力向上に関する予算額が「増えた」市区町村は16.2%であった。



⑤ 今後の取組について

[質問5] 子どもの体力向上に関する施策を実施する上で、今後特に力を入れて取り組みたい内容は何ですか（複数回答可）

■ 今後特に力を入れて取り組みたい内容は、「子どもの体力向上に関する取組のための学校との協力体制の確立」が52.4%であった。



⑥ 体力向上に関する施策の実施と体力向上に関する取組の改善の関連

■ 子どもの体力向上に関する施策を「実施した」市区町村は、体力向上に関する取組に改善の変化が見られたと「大変そう思う」+「ややそう思う」が86.4%であった。

「実施していない」市区町村は、体力向上に関する取組に改善の変化が見られたと「大変そう思う」+「ややそう思う」が50.6%であった。

